



Tezos Foundation

半期更新活動報告書

2022年9月

はじめに



Tezos コミュニティ各位

Tezosエコシステムは継続的に成長しています。取引におけるロールアップを重視するTezosのプロトコルの更新から開発者向けツールやオンボーディングのコミットメントに至るまで、需要に応じ拡張しています。

Tezos Foundationではこの数カ月間、開発者成長をサポートするための取り組みを強化してきました。その主な取り組み、ツール、そしてクラス最高のリソースを本報告書にてご紹介できることを非常に嬉しく思います。

6月にドイツ・ベルリンで開催された今夏最大級の開発者イベント「WeAreDevelopers World Congress 2022」において、Tezosは注目の存在でした。このイベントにおいてTezos HCKR Loungeは、キャリアフェア、および2日間のワークショップを開き、Blokhaus、Marigold、Tezos India、Trilitech、TZ Connectをはじめとする様々なチームの代表者が大きく取り上げられました。メインホールでは、Tezosの共同創業者で初期アーキテクトのアーサー・ブライトマンによる「A Developer's Journey Through Web3 Separating Hype From Substance」と題した基調講演が行われるとともに、この展示フロアとは別に、Blokhausチームにより、Tezosエコシステム全体に渡る開発者やソートリーダー達との奥深いインタビューの **シリーズ** が撮影されました。

7月には、Tezosエコシステムのコーディネートにより、パンデミック以来初めて、Tezosの開発者に焦点を当てた会議「TezDev」が開催されました。フランスのパリで開催されたこのTezDev会議には、世界中からのTezosコミュニティのメンバーたちが集結しました。3日間の会議

には400人以上もの登録者がパネルやトークに参加しました。7月、Tezos India TZ APACは、アジア太平洋地域にまたがり1カ月間のTezAsiaハッカソンを共催しました。TezAsiaハッカソンは、Tezosブロックチェーン上でソリューションの構築を求めるAPAC地域にわたり、11,000人以上もの登録者を引き寄せました。アクセラレータプログラムのためのハッカソン受賞者が選出されました。

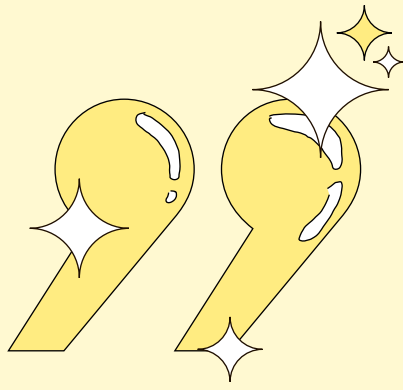
新たに **Tezos開発者ポータル** が7月に公開となり、スマートコントラクトのコーディングから分散型アプリケーションの構築にいたるまで、様々なトピックスを網羅したエコシステムマップやチュートリアルなどのリソースを提供しています。

Tezosは、 **最新報告書** でも示されるように、開発者間における認知度も引き続き高まっています。Tezos上半期のスマートコントラクトの展開で測定した開発者の活動を見ると、2021年の同時期と比べ288%の増加です。

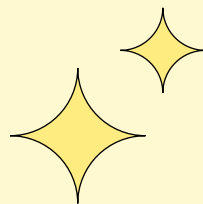
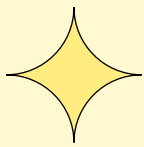
本半期更新活動報告書では、Tezosがこのような活発なコミュニティの一員であることに感謝を捧げると同時に、現在Tezosでウェブの未来を再構築している開発者やビルダーの皆様のための支援について再度述べさせていただきます。

Tezos Foundation理事会

*2022年6月より、監査および財務報告との整合を図るため、半期更新活動報告書の対象期間を変更することとしました。2022年1月につきましては、すでに前回の半期更新活動報告書にて報告済のため、本報告書では2022年2月から6月までの5カ月間を報告対象とさせていただきます。



「ウェブの未来は、
Tezosに構築されている。
革新的アプリケーションを
生み出す
開発者の手によって。」



目次

はじめに

2

Tezos Foundationの
ミッション

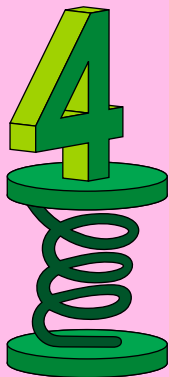
5

Tezosの過去5ヶ月間の
軌跡

7

実績と数字

10



助成金

11

優先順位とプロセス

12

助成金受給者および
その他の受給団体・組織

15

研究・教育、
コア開発
助成金

16

エコシステム - ツール
およびアプリケーションの
助成金

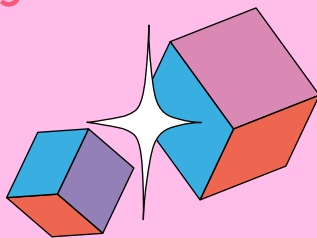
21

コミュニティ助成金

36

投資、ローン、
メンバーシップ

39



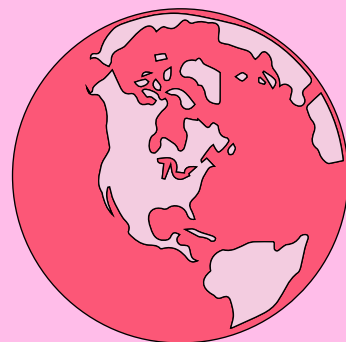
ファイナンシャル

42



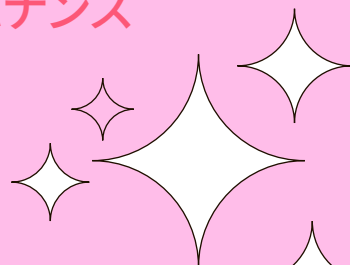
Tezosエコシステム
の世界地図

45



ガバナンス

47



Tezos
Foundationの
理事会と委員会

48

財団理事会

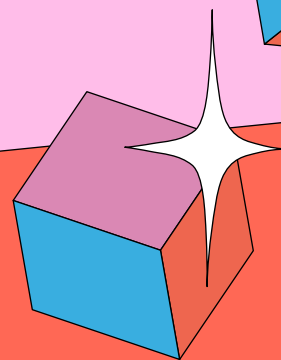
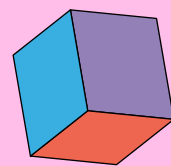
49

財団委員会

51



Tezos Foundationの ミッション



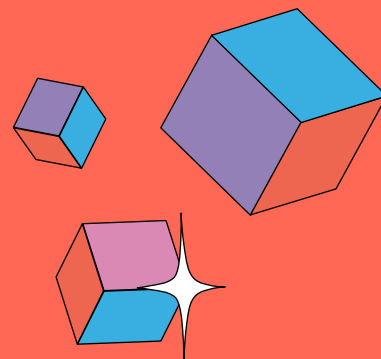
Tezosはデジタルにつながった世界で貨幣を保有・交換することの意味を再考させるスマート通貨です。省エネでセルフアップグレードに対応するProofofStake (PoS) ブロックチェーン技術としてすでに確立された実績を持ち、今日みられるネットワークの中断に影響を受けることなくシームレスに未来のイノベーションを採り入れます。単一の会社が「Tezos」を所有、運営、管理することはありません。このパラダイムを理解することが不可欠です。

Tezos Foundationは、スイス連邦財団監督局の監督下に置かれた財団です。Tezos Foundationは助成金、投資、スポンサーシップを通じて、世界中のTezosプロトコルおよび関連技術の普及と発展を支援することを目的としています。その活動として、最新分散型ソフトウェアのオープンソースアーキテクチャ分野における、新しい技術とアプリケーションなどがあります。

Tezosのポジションペーパーでも強調されているように、分散型ネットワークの成功は、堅実で多様性に富んだ活発なコミュニティの努力にかかっています。Tezos Foundationは、開発者、科学者、ネットワークバリデータ（「ベーカー」）、ファン、eスポーツやゲーム会社、デジタルアートクリエイター、その他多くの人々とともに、最終的に世界規模のイノベーションを促進できることを信じてTezosエコシステムの成功に向けて取り組んでいます。

Tezos Foundationは、Tezosプロジェクトの長期的な未来を支援するリソースを展開することでそのミッションを果たしています。その一環として、世界中の教育・研究機関、DeFi、アートやゲームなどのプロジェクト、開発者、活動家などのコミュニティを支援する戦略的な方法として、助成金、投資、パートナーシップを展開しています。

Tezosの可能性は、ブロックチェーンエコシステムで最も力があり、大きな存在感を示しているコミュニティの手にかかっています。それはブロックチェーン上で増え続ける新たなスマートコントラクトの展開数からも伺い知ることができます。この分野の関係者であれば誰でもTezosのコミュニティに参加して、Tezosのプロジェクトに貢献できます。



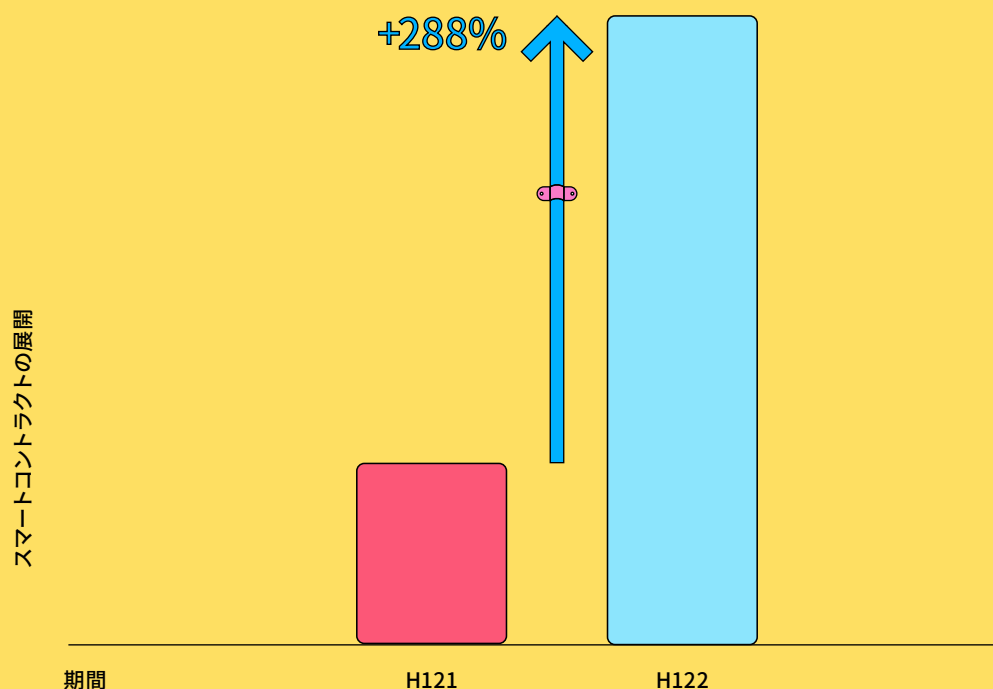
タコス



Tezosの過去5ヶ月間の軌跡

本半期更新活動報告書の対象期間中に発生したTezosエコシステム内の数々のイベントの中からその一部をご紹介します。

「2022年上半期まで、スマートコントラクトの新規展開で測定した開発者の活動は、2021年同期比で288%増加」 - Messari [↗](#)、Tezosの現況 2022年第2四半期報告書



2022年2月

2022年2月3日
FloSports、Tezosをテクニカルパートナーとして指名。

2022年2月8日
Hic et Nuncのプラットフォームの進化
Teiaを発表。

2022年3月

2022年3月4日
Papa John's、TezosでNFTのミント
を発表。

2022年2月10日

マンチェスターユナイテッド、Tezosを公式ブロックチェーンおよびトレーニングキットのパートナーとして発表。

2022年2月18日

DOGAMIの「ペタバース」NFTのミント開始。

2022年3月9日

Misfits Gaming Group、公式ブロックチェーンパートナーとしてTezosを選定。

2022年3月23日

WAC Lab、アート&カルチャー機関のためにWeb3フェローシッププログラムを発表。

2022年3月30日

QuipuSwapでイールドファーミングを展開。

2022年4月

2022年4月2日

Tezosの9回目のアップグレード「Ithaca 2」を展開。

2022年4月5日

Evian × Sara Shakeel NFTが完売。

2022年4月19日

ゲラン、Tezosでミントした「Reaverse Cryptobeets」を導入。

2022年4月26日

デカトロン、TezosでNFTのミントを発表。

2022年5月

2022年5月10日

シンガポール国立大学のコンピューティング学部が、TZ APACと提携。

2022年5月12日

Tezos Foundation、ミサン・ハリマンが精選したデジタルアートギャラリーを発表。

2022年5月19日

La Diversité du Cinéma français (DCF)、エンターテインメント業界向けにTezosベースのトークン「KlapCoin」を発表。

2022年5月27日

Tezosに構築されたNFTを、香港Art Baselにて「NFTs and the Ever-Evolving World of Art」エキジビションの一環として展示。

2022年6月

2022年6月1日

Plenty、EthereumからTezosへ新しいブリッジを開始。

2022年6月7日

Madfishが開発したTemple walletモバイルアプリをGoogle Playでリリース。

2022年6月13日

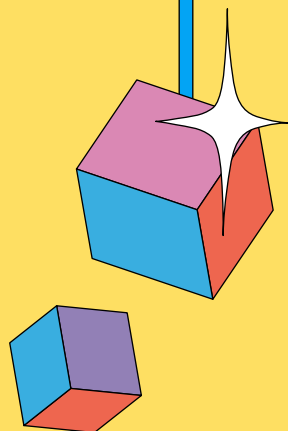
Tezosに構築されたNFTを、バーゼル
のArt Baselにて「Chance
Encounters in New Mediums」エキ
ジビションの一環として展示。

2022年6月14日

世界的パフォーマンスアーティスト
Marina Abramović、
Tezosで作成した初のNFTと
ブロックチェーンの
パフォーマンスを発表。

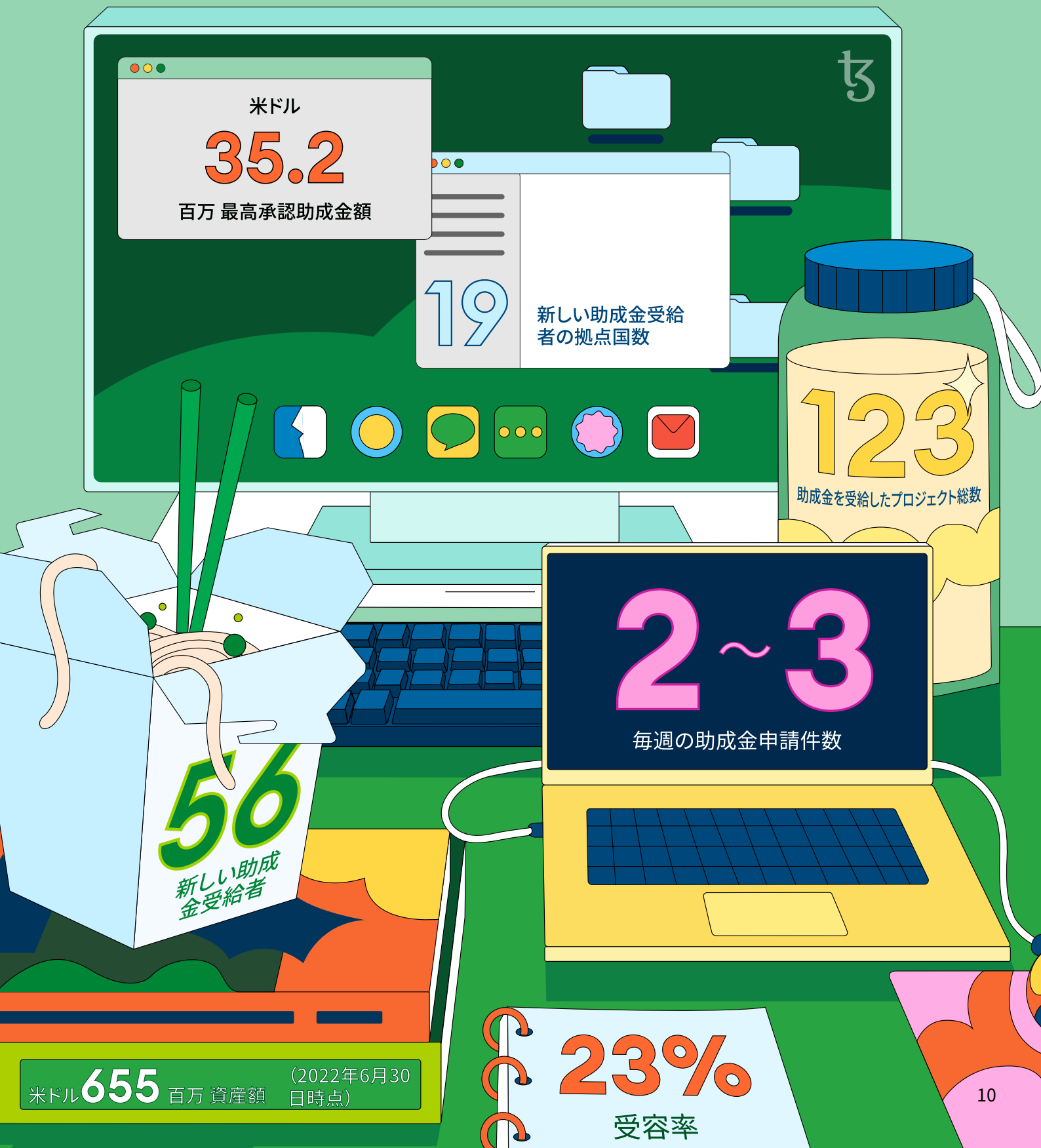
2022年6月28日

Tezosの10回目のアップグレード
「Jakarta」を展開。



実績と数字

2022年2月～6月の、Tezos Foundationのハイライトを抜粋



助成金



助成金 – 優先順位とプロセス

Tezos FoundationはTezosのエコシステムの長期的な成功に役立つリソースの配備に重点を置いています。例えば、3つの助成金カテゴリに該当する助成金などが支給されています。

研究・教育、コア開発助成金

Tezosに関するイノベーション、開発、教育を促進します。助成金には、オンライントレーニングコースやコアプロトコルの開発など、さまざまなプロジェクトが含まれています。

エコシステム – ツール・アプリケーションの助成金

参入ハードルを低くして、開発者や後続のアプリケーションのエンドユーザーがTezosを利用できるようにします。

コミュニティ助成金

Tezos Foundationが属するTezosコミュニティを強化し、成長に導く組織やイニシアチブをサポートします。

年来、複数の関心領域が、現時点におけるTezosのエコシステムにとって最も有益であると特定されてきました。この領域はエコシステムの進化や拡大に伴い、時間の経過とともに変化していきます。本半期更新活動報告書では、財団に寄せられたゲームプロジェクトの応募の増加を紹介するため、ゲーミングのカテゴリが追加されました。

さらに、Tezos Foundationでは、Tezosエコシステムのサポート強化にあたり新しいプログラムをリリースしました。2022年5月、報奨金プログラムを開始しました。このプログラムは、Tezosコミュニティの技術専門家が非常に有益であると認めた具体的な需要を解決した者に特別報奨金を授与するというものです。

助成金申請の評価プロセス

助成金提案の評価には
以下のように3つの段階があります。

1.提案 助成金提案書の提出

助成金の手続きは助成金提案書の提出から始まります。助成金提案書には、提案するプロジェクトに関する主な情報、そして成功までの道のりを記述する必要があります。この情報には例えば提案するソリューションの機能・技術的詳細、目的、ロードマップ、プロジェクトチームの紹介、Tezosのエコシステムに精通している証拠、エコシステムに提供できるとされる付加価値、助成期間後のソリューションの持続性を保証するための対策などが含まれます。提案書が提出されると、Tezos Foundationによる審査が行われます。審査の結果にはより詳細な内容の確認、修正・再提出依頼、却下などがあります。

期間：1週間



2.授与 審査と最終決定

より詳細な審査が行われる場合、技術諮問委員会（TAC）が監督するエコシステムの専門家が助成金提案書を審査します。TACは緊密にデューデリジェンスを行い、提案のTezosエコシステムへの適合性と有用性に関する提言を作成します。TACによる推薦は、その後、執行委員会（EC）またはTezos Foundation理事会（FC）で検討され、最終決定が下されることとなります。助成金提案に下される最終決定は採択、辞退、修正・再提出のいずれかとなり、その旨が提案者に通知されます。

期間：3週間

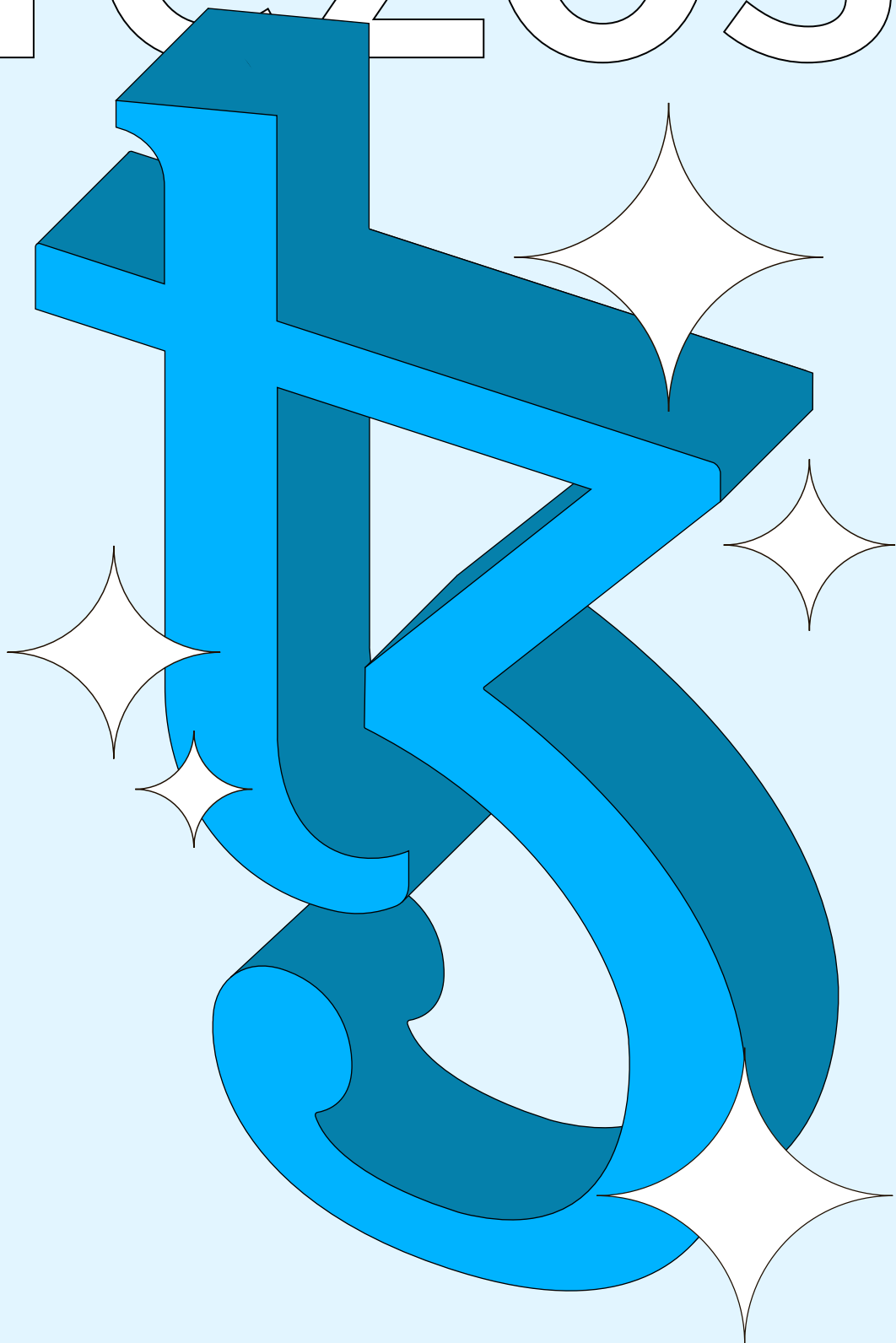


3.授与後 助成金の契約とフォローアップ

申請が承認されると、申請者はTezos Foundationと助成金を確定するための法的書類の手続きを行います。プロジェクトの助成金契約と支払いは、通常マイルストーンに沿って構成されています。1つのマイルストーンが完了すると、助成金の受領者は報告書を提出します。報告書が審査され、承認されるとマイルストーンに対する支払いが行われます。プロジェクト終了後は、Tezos Foundationが定期的にプロジェクトの繁栄を判断します。この段階において、Tezos Foundationは助成先とのさらなる協力の機会を模索し、Tezosエコシステムの中で同様の相乗効果を持つ関係者との提携を提案することもあります。

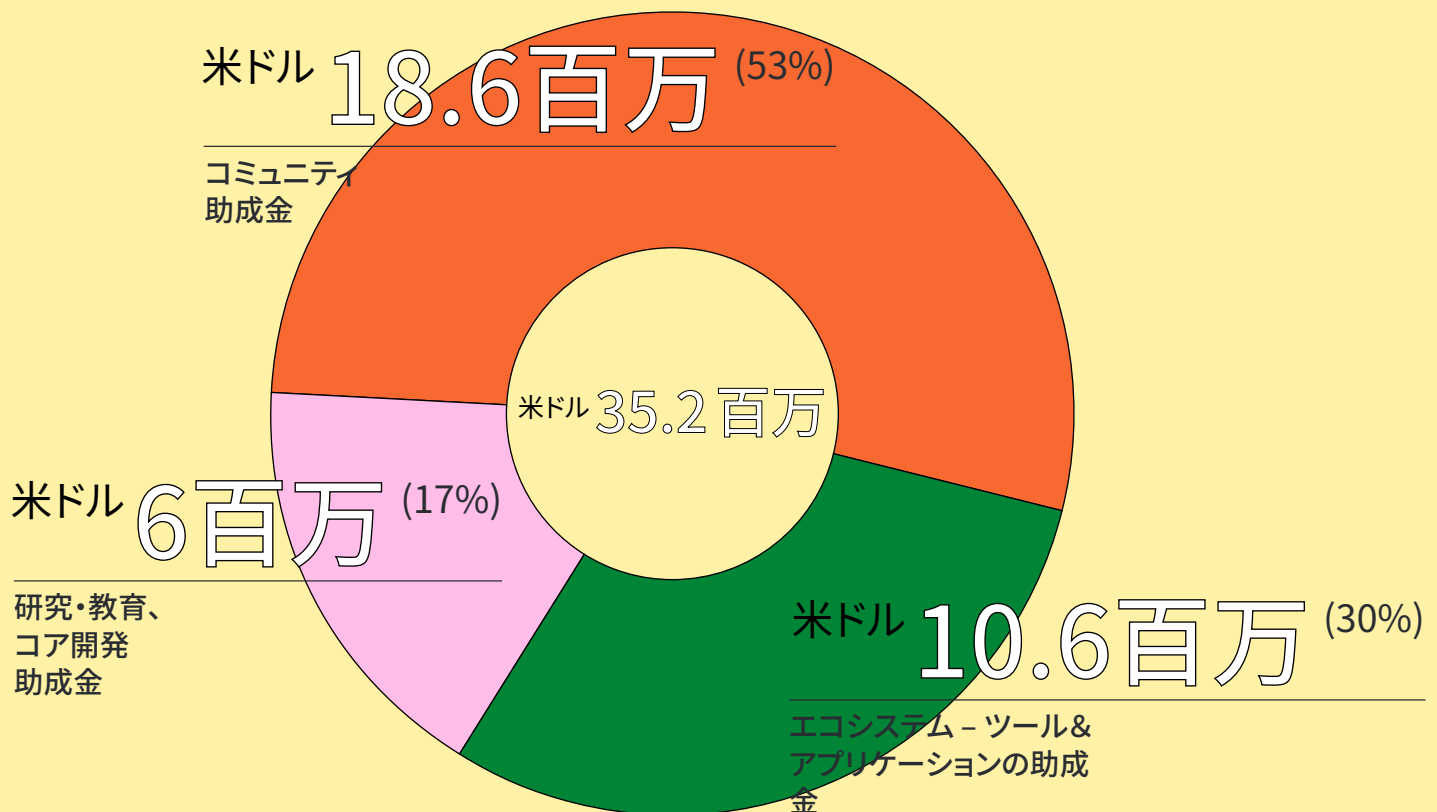
期間：3週間

Tezos



助成金受給者およびその他の受給団体・組織

前回の半期更新活動報告書（2022年3月）以降、Tezos Foundationは19か国で56件の新たなプロジェクトに最大総額35.2百万米ドルの資金を承認しました。過去に助成金を受給して、現在も活動中のプロジェクトの中には、本半期更新活動報告書に掲載されていないものもあります。それ以前の助成金については、Tezos Foundationの過去の半期更新活動報告書をご覧ください。また、相互の秘密保持契約に基づき、一部のプロジェクトは記載されていないものもあります。



研究・教育、 コア開発 助成金

Tezos Foundationは助成金制度を通じて、分散システム、暗号法、プログラミング言語、Tezosエコシステム内の形式検証など、コンピューターサイエンスに関連する幅広いドメインに関する研究と教育をサポートしています。リソースの多くは、世界中の一流の機関や組織の科学者やエンジニアのサポート、さらに将来の才能を育成するための教育プログラムに充てられています。これらのイニシアチブおよびコアプロトコルの開発に貢献するその他のイニシアチブを、Tezos Foundationは最優先とします。

受給者とその他の受給団体・組織：

コア開発

- Computer Software Group, Graduate School of Informatics, Kyoto University (日本)
- DaiLambda Inc., (日本)
- Indian Institute of Technology Hyderabad (インド)
- Indian Institute of Technology Madras (インド)
- Marigold (Accélérateur de Blockchain SAS) (フランス)
- Nomadic Labs SAS (フランス)
- Oxhead X LLC (米国)
- Tarides SAS (フランス)
- TriliTech Limited (英国)
- Viable Systems S.R.O. (スロバキア)

研究・教育

- B9lab Ltd., (英国)
- Dacade (Unit U+2467 GmbH) (ドイツ)
- Free Code Camp Inc., (米国)
- Nagoya University (日本)
- Turing College (リトアニア)
- University of Cambridge (英国)
- University of Siena (イタリア)

組織・カテゴリごとの月間承認最高額

● 50万米ドル超
● 50万米ドル以下

● 20万米ドル以下
○ 5万米ドル以下

コア開発

助成金プログラムの一環として、世界中の分散化コア開発者チームからサポートを受けてTezosプロトコルを推進しています。この分散化コア開発者チームは度々、新たなプロトコルアップグレードに向けた提案作成に共同で取り組んでいます。Tezosネットワークを検証するベーカーに改めて提案のうえ、投票が行われます。

The Computer Software Group はGraduate School of Informatics, Kyoto Universityに在籍し、複数の参加者が関与する可能性のあるトランザクションとして一連の操作の静的検証手法の考案と、既存の検証器「Helmholtz」を基盤としたMichelson用のコントラクト間検証ツールの開発に取り組んでいます。この研究はTezosブロックチェーンの中核的な開発に含まれています。

DaiLambda は、日本に拠点を置く、Tezosのコア開発チームです。ダイラムダ・チームは、パリにあるフランス国立情報学自動制御研究所 (Inria) 時代の学術研究に端を発するOCamlプログラミング言語の豊富な経験を持っています。Tezosのコアプロトコルストレージの最適化、ならびに日本でのプロモーション活動を目的とする「Plebia」プロジェクトに対して、助成金が交付されました。

Indian Institute of Technology Hyderabad は複数のコアリソースを活用し、Tezosブロックチェーンにおけるスマートコントラクトのトランザクションを効率的に並列実行するフレームワークの開発に取り組んでいます。これによりTezosブロックチェーン全体のトランザクションの改善が期待されます。

Indian Institute of Technology Madras は8,000人を超える学生と約550人の教職員を抱える世界トップクラスの研究機関であり、テクノロジー系高等教育や、また基礎研究と応用研究に力を入れています。同大学に付与された助成金は、アップストリームでのOCamlマルチコア対応を実現し、Tezosツールスタックを拡張し、特にIrminやLwtライブラリを拡充するために使用されます。本チームはTaridesとの緊密な協力のもとに、このプロジェクトを推進しています。

Marigold は国際コア開発者チームで、優先度の高いレイヤー2ソリューションや、パフォーマンス、並行処理、コードベースのメンテナンスなどのTezosコアプロトコルに関するテーマに取り組んでいます。チームは過去のプロトコルのアップグレードをサポートし、開発者に向けた生活の質の改善など、Tezos技術に対する提案されたアップグレードの開発を続けてサポートしています。

Nomadic Labs はパリを拠点とする研究開発会社で、Tezosの開発、進化、導入に貢献しています。Nomadic Labsはプロトコルの開発で世界の研究機関や大学と協力し、スマートコントラクトの形式検証、コンセンサスアルゴリズム、ゼロ知識暗号法の研究を行っています。また、最も広く使われているTezosノードとベイクングソフトウェアであるOctezのメンテナンスも行っています。

Oxhead Alpha は、ネットワークプリミティブのメンテナンス、プロトコル研究開発、Tezos利用企業のサポートに専念する米国のフルスタック開発者チームです。Tezos技術の認知度向上と普及に向けた継続的な取り組みを行うにあたり、インフラやプロトコルの研究開発に関連するプロジェクトの維持・開発を担当しています。

Tarides チームは、OCaml Labs Consultancy および Segfault Systemsと合併し、クラウドコンピューティングに共通するセキュリティおよびレイテンシー問題に対処する、オフラインファーストアーキテクチャに焦点を当てた機能システムを構築しています。OCamlおよびMirageOSコミュニティのパートナーとの協力により、OCamlベースの革新的なオープンソースソフトウェアの開発も進めています。さらに、コア開発チームと協力し、重要なライブラリや主要な言語機能の保守も行っています。また、Irminの主要開発者でもあります。IrminのシステムはTezosブロックチェーンの台帳をOctezノード実装に格納します。TaridesはTezosシェルのスケーラビリティを向上させるプロトコルコアのマルチコア対応にも取り組んでいます。これに加え、Taridesはタイプセーフプログラミング言語の抽象化にも取り組んでいます。

TriliTech はロンドンを拠点とするTezosブロックチェーンの研究開発および起業家ハブで、主にTezosプロトコルのコア開発、そしてTezosテクノロジーのグローバル産業における採用の支援に注力しています。その目標は、オンチェーンおよびオフチェーンの両方で、Tezosエコシステム独自の機会をさらに開発し、触媒作用を及ぼすことにあります。

Viable Systems は、経験豊かな開発者およびテクニカルライターから成る国際チームで、主にヨーロッパや北南米からリモートで従事しています。この国際チームはさらに五つのチームに分かれています。1) ノードのセキュリティを自動でテスト・監査するツールを作成するセキュリティチーム、2) ノードの開発・管理を担うコアチーム、3) ブロックチェーンのステートを保存するノードのストレージ実装を担当するストレージチーム、4) ノードをよりシンプルに使いやすくするフロントエンドツールの作成を行うコミュニティチーム、5) 新規ユーザーの獲得と既存ユーザーの関心を維持するコンテンツ作成を行うマーケティングチームがあります。



チューリング・カレッジ・チーム

研究・教育

研究・教育部門の助成金は、Tezosの長期的な成功と新たに加わる開発者のトレーニングのサポートに充てられています。この助成金の対象となるのは研究開発チームだけではなく、教育資料を通じてTezosのエコシステムに加わる新規チームの参入ハードルを積極的に低めようと努めているグループも対象にサポートしています。

B9lab は、英国を拠点とし、ブロックチェーンと分散型アプリケーションの分野に特化した技術導入、企業学習、コンサルティングソリューションを専門とする企業です。このチームは、助成金を利用し、Tezosアプリケーションを開発する方法を学びたい開発者向けの教育体験を開発していきます。この取り組みの一環として、自由にアクセスできるトレーニングコースや、開発者中心のCSO (continuous security offering) のユースケースを構築しています。

Dacadelは、戦略家、開発者、設計者が集まる学際的なネットワーク **Unit U+2467** が運営するプロジェクトです。2010年にベルリンで設立され、現在では4つの国を拠点にプロジェクトに取り組んでいます。ピアツーピアの学習ネットワークであり、質の高い教育的交流にトークンを使って報酬が支払われています。DacadelはTezosエコシステムの知識・教育交流が行われる市場です。

Free Code Camp は、米国を拠点とするプロジェクト「freeCodeCamp.org」を運営するチームで、freeCodeCampのYouTubeチャンネルに登録している450万人の開発者を対象に徹底したTezosのスマートコントラクト開発コースを無料で公開することで、Tezos開発者の熟練者が世界中で増加するよう取り組んでいます。

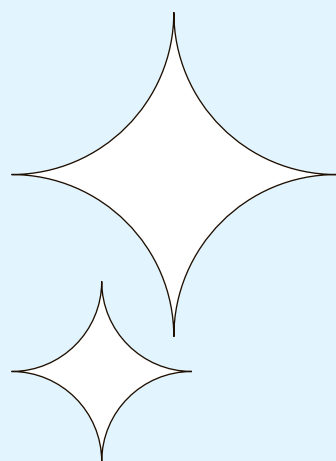
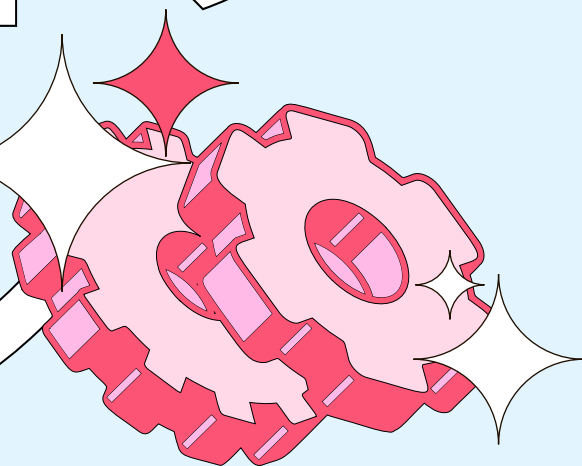
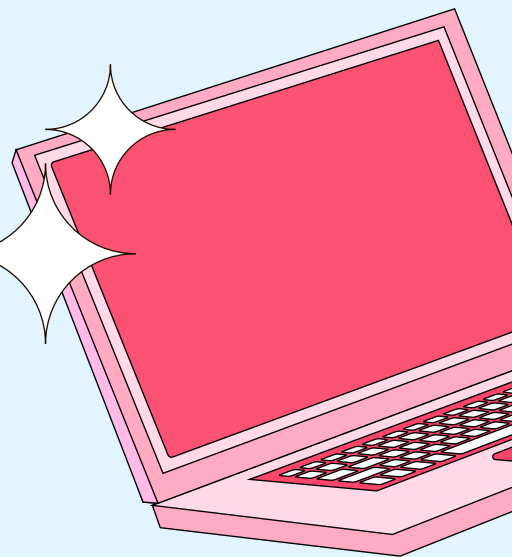
Nagoya University は日本屈指の高等教育機関です。名古屋大学大学院数学科の教授が“Certifiable OCaml Type Inference” プロジェクトを進めており、を制約ベース型の推理を使うOCaml型チェッカーをモジュール化し、Coq対話型定理証明を使ってそれを証明することにより、OCaml型推理の堅牢性、モジュール性、検証性を高めることを目的としています。さらにこの助成金は、ブロックチェーンや検証に関連するテーマの教育をサポートし、それには、ダイラムダならびに他のアジア太平洋地域のTezosの開発者チームとの協力によるTezosテクノロジーの技術コースも含まれます。

Turing Collegeはリトアニアを拠点とするデータおよびブロックチェーンのオンラインスクールで、スマートコントラクトのプログラミングに特化した無料でのコースプログラムの立ち上げに取り組んでいます。授業では、受講生はTezosブロックチェーン上で開発された実践的なプロジェクトに取り組むことができます。授業の開始は2022年第4四半期を予定しています。

University of Cambridge は、英国の有名大学です。Tezos Foundationは、Tezosブロックチェーンのエネルギー高効率の取引手段に即した自然に基づいた気候変動に対する解決策のプロジェクト検証、そして分散型炭素取引に関する基礎研究の支援として、同大学に対し慈善基金および研究資金を提供しました。この研究は同大学のコンピューター科学技術部門を拠点とし、ケンブリッジ自然保護イニシアティブのケンブリッジゼロ、動物学部、植物科学部、University of Cambridge UKRI人工知能応用博士課程教育センターと共同で行われ、環境リスクを調査します。

イタリアでは、**University of Siena の政治経済および統計学部** のニコラ・ディミトリ教授が、Tezosのリックド・プルーフ・オブ・ステークプロトコルを研究しています。このプロジェクトは、ユーザーがベークとデリゲートの間の最適なステークをどのように決定するかを調査し、公式化するものです。

開発者
ハ
ー



エコシステム – ツール・アプリケーションの助成金

Tezos Foundationは、スキルレベルの異なる開発者がTezosで新たなアプリケーションを構築でき、エコシステムの成長に役立つツールを構築している数々のチームをサポートしています。Tezos Foundationはこれまで、主に、この助成金作成カテゴリ内で、プログラミング言語とライブラリ、ブロックエクスプローラーと分析、スマートコントラクト開発、インフラストラクチャ、アプリケーション、収集品とクリエイタートークン化、クラウドファンディング、ゲーミング、分散型ファイナンス、決済ソリューションの分野に焦点を当ててきました。

受給者とその他の受給団体・組織：

プログラミング言語とライブラリ

- Cryspen (フランス)
- ECAD Labs Inc. (カナダ)
- Formal Land (Arae SARL) (フランス)
- Ligo (Accélérateur de Blockchain SAS) (フランス)
- Massachusetts Institute of Technology (米国)
- Nomadic Labs SAS (フランス)
- PyratzLabs SAS (フランス)
- Tarides SAS (フランス)

ブロックエクスプローラーと分析

- Agile Ventures S.R.O. (チェコ)
- Baking Bad OÜ (エストニア)
- Blockwatch Data Inc. (米国)
- Cryptonomic Inc. (米国)
- Dialectic Design (オランダ)
- Papers AG/AirGap (スイス)

スマートコントラクト開発

- Chinstrap (WeFuzz) (オランダ)
- DaiLambda Inc (日本)
- Edukera SAS (フランス)
- 高麗大学校 (韓国)
- Runtime Verification Inc. (米国)
- Smart Chain Arena LLC (米国)
- TezWell Unipessoal LDA (ポルトガル)

インフラ

- Agile Ventures S.R.O. (チェコ)
- Ateza LLC (米国)
- CapBridge Financial Pte Ltd. (シンガポール)
- Chainstack Pte. Ltd. (シンガポール)
- COEXYAグループ (フランス)
- Compellio SA (ルクセンブルグ)
- Cryptonomic Inc. (米国)
- ECAD Labs Inc. (カナダ)
- Figment Networks Inc. (カナダ)
- Functori SAS (フランス)
- FutureSense Co Ltd. (韓国)
- Global Infra Tech Bulgaria EOOD (ブルガリア)
- Gravity SAS (フランス)
- Kukai AB (スウェーデン)
- MIDL.dev OÜ (エストニア)

組織・カテゴリごとの月間承認最高額

- 50万米ドル超
- 20万米ドル以下
- 50万米ドル以下
- 5万米ドル以下

受給者とその他の受給団体・組織：

インフラ（続き）

- Nomadic Labs SAS (フランス)
- Opsian Ltd. (英国)
- Papers AG/Airgap (スイス)
- Satoshi's Closet Inc. (米国)
- Solvuu Inc. (米国)
- Tezos Reward Distributor (米国)

アプリケーション

- Agile Ventures S.R.O. (チェコ)
- Cryptocount (米国)
- Electis (フランス)
- Giry SAS (フランス)
- GK8 Ltd. (イスラエル)
- Kontera GmbH (スイス)
- Madfish Solutions Inc. (ウクライナ)
- Papers AG/Airgap (スイス)
- Serokell OÜ (エストニア)
- Talao SAS (フランス)
- Tangany GmbH (ドイツ)
- The Central Bottling Company Ltd. (イスラエル)
- The Blockchain Xdev (フランス)
- Xcap Ecosystem Ltd./Ownera (英国)

アートとその他の収集体

- AllTokenFootball GmbH (スイス)
- Amplify Creative Group Inc. (米国)
- Arago (フランス)
- Bkbook Inc. (英国)
- Block and Byte Technologies Pvt Ltd. (ByteBlock) (インド)
- Bookit (米国)
- CADAF (米国)
- Circa Art Ltd. (英国)
- Mailscript Inc. (DNS) (米国)
- EuraNov SAS (フランス)
- FloSports Inc. (米国)
- Joko Inc. (米国)

- McLaren Racing Ltd. (英国)
- Proof of People (英国)
- Red Bull Racing Ltd. (英国)
- Superstar Xchange Inc. (米国)
- Tezos Foundation常設アートコレクション (スイス)
- The Tickle (英国)
- theVERSEverse (米国)
- VerticalCrypto Art (VRTCL Ltd.) (英国)

ゲーミング

- Blockchain Alchemy (米国)
- Finest Esports Ltd. (イスラエル)
- Misfits Gaming Group (Esports Now LLC) (米国)
- Talao SAS + Gif Games (Tezotopia) (フランス)
- Team Vitality SAS (フランス)

Decentralized Finance (DeFi)

- Baking Bad OÜ (エストニア)
- Ejara (Nzinghaa Lab) (カメルーン)
- INABLR FZCO Ltd. (アラブ首長国連邦)
- Indivio AG (スイス)
- Kord.fi (トルコ)
- Madfish Solutions Inc. (ウクライナ)
- Nyayomat (Samserve Ltd.) (ケニア)
- OpusDei (G.Ko Inc OÜ) (エストニア)
- Papers AG/Airgap (スイス)
- Profoeo SAS (Lyzi) (フランス)
- RAZ Finance (Roshem Ventures Ltd.) (イスラエル)
- Rocket Launchpad Ltd. (英国領ヴァージン諸島)
- Smartlink.so OÜ (Vortex) (エストニア)
- Tezsure Inc. (オランダ)
- Weltchain Inc. (英国領ヴァージン諸島)

決済ソリューション

- Al Bawaba Group LLC (アラブ首長国連邦)
- HEXA Solutions SAS (フランス)

組織・カテゴリごとの月間承認最高額

- 50万米ドル超
- 20万米ドル以下
- 50万米ドル以下
- 5万米ドル以下

プログラミング言語とライブラリ

Tezosを可能な限り利用しやすくするために、Tezos FoundationはTezos開発への参入ハードルを低めることに役立つオープンソースソフトウェアを作成するエンジニアをサポートしています。

Cryspen はフランスとドイツのチームで、HACLパッケージ (HACL*研究プロジェクトに基づいた暗号アルゴリズム完全版をもたらす検証済み暗号ライブラリのセット) の開発に取り組んでいます。このライブラリのコードは、Tezos、Firefox、Linux、mbed、WireGuard、ElectionGuardで使用されています。Cryspen チームはHACLを中心とした開発者とユーザーの活動的なコミュニティを構築しています。この目的達成のため、開発者と研究者がHACLの保守と拡張を容易にできるよう、十分に文書化された検証済みコードのオープンソースリポジトリと共有テストCIフレームワークを構築しています。HACLのみならず、Cryspen はMLS などの今後の暗号標準にも関与し、企業が自社製品の安全性を守る上で役立つ正式検証のカスタム暗号ソリューションを構築しています。

ECAD Labs はオープンソースの開発ツールを構築し、Tezosエコシステムのインフラサービスを提供しています。カナダのバンクーバーに本社を置き、技術的ハードルを下げ、ブロックチェーン開発の経験を簡素化することを目指しています。Tezosコミュニティで人気のあるJavaScriptライブラリ、Taquitoを開発したチームです。

Formal Land はフランスを拠点とする開発チームで、Tezosコードベースの形式の検証のためにCoq (coq-of-ocaml) を使用しています。これにはプロトコルの多くの構成要素 (現在主に低レベル層) の検証、ストレージシステム、Michelsonインタープリター、シリアライズライブラリ (データ符号化) とその使用方法の検証などが含まれます。創設者は、Tezosプロトコルのコードを似たようなCoqコードに変換するオープンソースの翻訳ツールを作成しました。チームは現在Tezosコミュニティの他のメンバーと交流しながら、プロトコルの翻訳と証明の書き込みメンテナンスを行っています。助成金は、プロトコルと残りのコードベースに関する検証済みプロパティの数を増やす作業に充てられています。

LIGOチーム はフランスを拠点としてLIGOプロジェクトの開発を手掛け、このツールの採用と対応を広げていくことを目指しています。LIGOは、Michelsonで作成したものに比べて使いやすいスマートコントラクト言語で、大型コントラクトの開発向けに設計されました。そして引き続き、全体的なメンテナンスやフロントエンド (シンタックス間のより良いトランスコンパイルなど)、ミドルエンド (タイパーに対する改良など)、バックエンド (Coqに移行する部分の数の増強など) といった改良を行っています。

Massachusetts Institute of Technology は

米国の名門大学であり、正式に検証された暗号ソフトウェアライブラリや、暗号プロトコルを実装し正式に検証されたソフトウェア/ハードウェアスタックの研究を行っています。すべてのソフトウェアとハードウェアの設計はオープンソースライセンスで一般公開されています。同大学はTezosコミュニティと協力しながら、有用な拡張機能を開発しています。

Nomadic Labs はMichelsonの管理を行っています。MichelsonはTezosスマートコントラクトのプログラミング言語で、正式検証を念頭において設計されています。Michelsonは、Tezosスマートコントラクトの参照言語です。これは低レベルでチューリング完全なスタックベースの言語であり、スマートコントラクト実行前に全クラスのプログラミングエラーを排除する静止型システムを備えています。さらにNomadic Labsは、Mi-Cho-Coq (Coqインタラクティブ定理証明器を使用するMichelsonの仕様) を保守しています。このことにより、Michelsonのシンタックスとセマンティックスの正式な仕様と、スマートコントラクトを検証するためのフレームワークを提供します。

PyratzLabs は、パリを拠点とするWeb3専門のスタートアップスタジオで、Tezosエコシステムにおけるベンチャー企業の立ち上げを産業化することを目指しています。Smart-linkとDogamiを送り出したPyratzLabsは、2022年に新しい8社の始動を計画しています。教育にも力を入れ、PythonからMichelsonへのコンパイラであるPyMichを開発し、開発者の新入研修をさらに簡単にしています。

Tarides もまた同様にOctezの開発者が使用するOCaml開発者ツールの保守や、Tezosの開発者コミュニティが使用するMirageOSライブラリの長期サポートを保証しています。

ブロックエクスプローラーと分析

Tezos Foundationでは、コミュニティメンバーが、Tezosブロックチェーン分析に使用できるオープンソースのブロックエクスプローラーやその他のツール開発を優先して資金提供しています。

本書で取り上げるその他のプロジェクトに加えて、**Agi-le Ventures** は、TypeScript/JavaScriptで構築されたスマートコントラクトをインデックス化するフレームワーク「Dappetizer」を開発しました。

Baking BadはTezosの開発チームで、TzKTとBetter Call Devの両方の開発・改良を手掛けています。インデクサーの機能だけでなく、これにはプロトコルのアップグレードに対応するための必要な変更、NFTやDeFi関連の活動など最近の開発の統合も含まれています。

Blockwatch Data は、Web3データ解析のリーディングプロバイダーです。同社は、Tezosネットワークへのアクセス、分析、対話のための強力なツールを介して、Tezosエコシステムに強靱なインフラと優れた開発者体験をもたらすことを使命としています。これに加え、オン・チェーン・アクティビティに関する比類なき洞察を導き出す、個別にあつらえたデータ・インテリジェンス・ソリューションも提供しています。

Cryptonomic は、Arronaxブロックエクスプローラを管理しています。加えて、Galleon、Conseil、ConseilJSの保守を担当し、またTezosエコシステムのチームと定期的に整合を図っています。

DialecticDesignはオランダを拠点とし、Tezosエコシステムの経済に関する分析とデータ駆動型のストーリーを提供する財務分析報告書である「StackReport」に取り組んでいます。このプロジェクトの目標は、TezosのNFT活動の分析と可視化で行われた作業をベースとして、レポートをより広いTezosエコシステムに拡大していくことにあります。定期的な報告はtheSTACKreport.xyz や複数のSNSで確認できます。

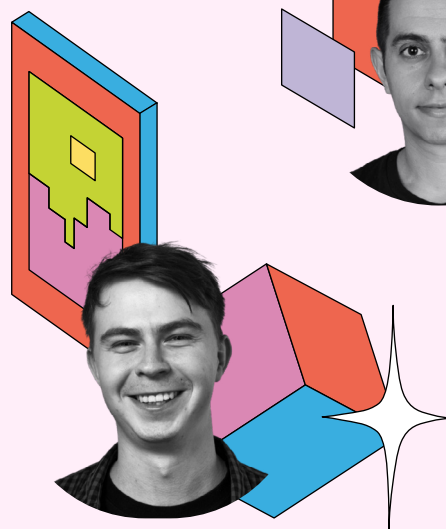
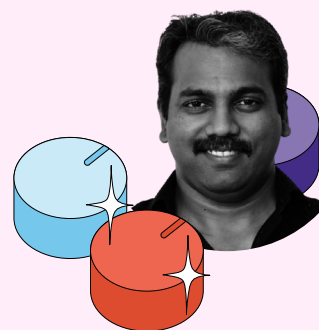
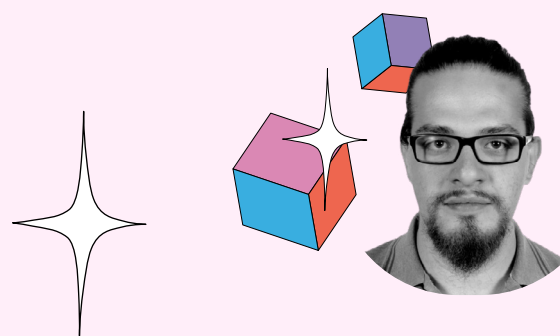
Papers はスイスの開発チームで、様々な活動のひとつとして、Tezosのブロックエクスプローラーで最近TzKTに統合された、tezblockの開発・保守を手掛けています。

スマートコントラクト開発

Tezosブロックチェーンは、組織レベルのスマートコントラクトをサポートしています。Tezos Foundationは、Tezosスマートコントラクト開発とそれに続くアプリケーションの参入ハードルを低めるためのツールに資金を提供しています。

DaiLambda は、形式的方法を用いて高品質のスマートコントラクト開発の負担軽減に積極的に取り組んでいます。その活動の一つとして、Typical Smart Contracts (TSC) エージェンシーのコンセプトを確立し、そのようなプラットフォームのためにオープンソースのプロトタイプを構築しています。プラットフォームのウェブアプリケーションでは、ユーザーが数多くのテンプレートの中から適切なものを選んでスマートコントラクトを作成できます。ユーザーの作業を助けるために、分かりやすく直感的に操作できるウィザードが用意されています。

Edukera はスマートコントラクトセキュリティを主な事業内容とするフランス企業です。Edukeraのチームは、Tezosブロックチェーンのセキュリティに焦点を当てた領域固有のスマート言語であるArchetypeを通して、スマートコントラクトのセキュリティに貢献しています。Tezos Foundationから付与された助成金は、プロジェクトをさらに推し進め、Archetypeスマートコントラクトの正式検証プロセスを構築することに使用されます。



Serokell
チーム

Korea University は3万6千人以上の在籍学生数を誇り、韓国で最も長い歴史をもつ高等教育機関の一つです。コンピュータサイエンス学部助教授のHakjoo Ohは、Michelsonで書かれたスマートコントラクトの完全性を全自動で検証し、テストするツールの開発に取り組んでいますが、その取り組みを支援するために助成金が交付されました。

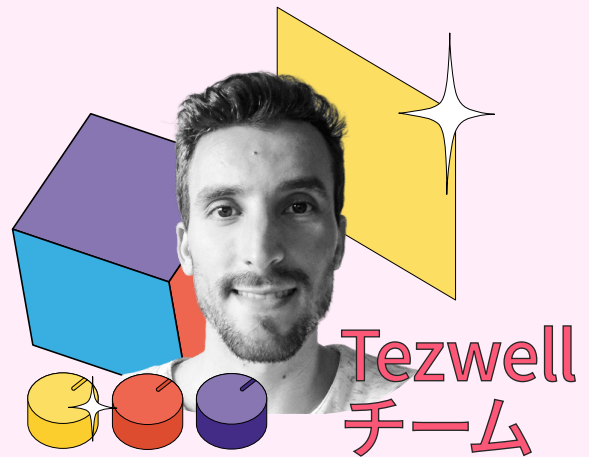
Runtime Verification は米国に拠点を置き、ランタイム検証ベースの手法を使用してソフトウェアの安全性、信頼性、正確性を向上させる開発に取り組んでいる会社です。開発に携わるチームは、数々のスマートコント

ラクト監査を通じてTezosのエコシステムをサポートしているほか、Michelsonのコード上でカバレッジ情報を直接表示できる、Michelson向けFireflyクライアントの開発にも着手しています。

Smart Chain Arenaは、SmartPyの開発元である米国企業です。過去にも助成金を受けており、現在は既存機能の改善や新規開発に注力しています。中でも、Tezosプロトコルのアップグレードへの対応、コントラクトに簡単にメタデータを追加できる機能 (TZIP-16)、遅延や更新が可能なエントリーポイント、Templeのsmartpy.ioへの統合、SmartMLやSmartJSのエディタなどに取り組んでいます。

TezWell は、Tezosエコシステムのスマートコントラクト開発にビジュアルプログラミングを導入することに注力しているポルトガル企業です。実現するとブロックをドラッグ・アンド・ドロップするだけで構築できるイラストでスマートコントラクトを表現できるようになります。

Chinstrapは、**WeFuzz**がオランダで開発しているプロジェクトです。助成金はChinstrapの開発・改良に使われます。Chinstrapは、公共および民間のTezosネットワーク上で複数のコントラクトのコンパイル、テスト、オリジネーションをサポートすることで、開発者の生活がより楽になるよう役立っています。



インフラ

インフラは、活発なブロックチェーンエコシステムに不可欠です。Tezosの場合、ファイナンシャルプリミティブスや資産基準などの重要なインフラを構築するプロジェクトにより、開発者はこれらの公共財を使ってTezos上で新しいアプリケーションを作りやすくなります。

Agile Venturesはチェコのコンサルティンググループで、2016年以降は社内に設けられたソフトウェア開発チームで数多くのTezosプロジェクトを手がけています。Tezos as a Service (TaaS) を基に、TezGraphと名付けられたTezos上にGraphQLサブスクリプションを乗せる作業を続けています。TezGraphはシンプルかつ互換性が高く、信頼性の高いオープンソースのAPIです。GraphQLの利便性と共にTezosブロックチェーンの履歴およびリアルタイムデータへのアクセスを提供します。これを達成するため、ECAD LabsとNomadic Labsの両社と共同研究を行っています。

Ateza は米国を拠点に活動するチームで、TezosノードとインターフェースをとるE2E暗号化を使ったグローバル負荷分散型アプリケーションプログラミングインターフェース (API)を開発しています。Tezos分散型台帳とインターフェースをとるアプリケーションの開発を容易にするため、Tezosのインフラストラクチャ強化をサポートすることが、APIの目的です。

CapBridge Financial は、シンガポールを拠点とする企業です。未公開 (プライベート) 企業の株式を直接更新して国別登録簿に取引情報を転送できるようにすることでTezosプロジェクトに貢献しています。これで未公開企業は実質、ユーザー定義で選別されたグループや株主と非公開取引することが選べるようになります。

Chainstack は、シンガポールを拠点とする企業です。スタートアップ企業から大手企業まで、クライアントの規模を問わずブロックチェーンアプリケーションの構築、運営、規模拡大をサポートしています。内閉的かつ自給式のプライベートネットワークや、Tezosコミュニティサ

ポートといったパブリックTezosノードを展開するマネージドサービスを提供しています。Tezosコミュニティでは、エコシステムの開発者をサポートするほか、ミートアップやウェビナーなど、Tezosに特化したビジネス開発にも取り組んでいます。

COEXYA は、「Choose Your Baker」というプロジェクトを開発したフランスの企業です。このプロジェクトは、Tezosのトランザクション発行者が、トランザクションの送信先であるベーカーを選択できるようにするための通信プロトコルの公開を目的としています。これは、セキュリティトークンを扱う金融機関のコンプライアンス部門にとっては切り離せないテーマです。

Compellio はルクセンブルグの企業で、W3Cの検証可能な認証モデルに基づくVerifiable Data Registryを実装しています。スマートコントラクトはTezosブロックチェーン上で展開される予定です。この実装の範囲は、発行者、保有者、検証者が、W3Cの検証可能な認証ワークフローの文脈で必要とされる公開鍵、識別子、検証可能な認証スキーマデータを取得できるよう、分散型で一般に利用可能なサービスを提供することにあります。

Cryptonomic 高度に分散化されたコンソーシアムアプリケーションに対応するツールやスマートコントラクトを提供しています。同社は、継続的管理とコミュニティの取り組みをはじめ、Tezosのオラクルサービスを開発しています。

本書で取り上げるその他のプロジェクトに加えて、**ECAD Labs** の取り組みとして、リモート署名アプリケーションのSignatory、Agile Venturesと共同で構築したGraphQLインデックスAPIのTezGraph、最近ベータ版が開始されたTezos開発ツールスイートのTaqueriaなどがあります。

Figment Networks は、Web3ソリューションを開発するカナダの企業です。同社の狙いは、Tezosアプリケーションを開発するソフトウェアエンジニアのために、よりシームレスなエクスペリエンスを実現することにあります。助成金によりTezosの技術のDataHubへの統合をさらに進め、開発者がAPI経由でTezosブロックチェーンのデータにアクセスしやすくする「フルノード・アズ・サービス」を実現します。Data Hubを利用することで、開発者はブロックチェーンインフラの維持やカスタム統合に手間を取られることなく、標準API経由でTezosブロックチェーンのライブデータに登録してアクセスできるようになります。

Functori チームはフランスを拠点とするチームで、プロトコルのレベル (Tenderbake)、プロトコルの開発経験 (Mitten)、Raribleのバックエンド統合に取り組むと同時に、NFT (Straiqr、Aragoなど) やDeFiのスペース (Smartlink、FlameDeFi、SpicySwapなど) のクライアント向けスマートコントラクトも



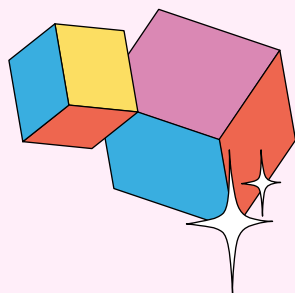
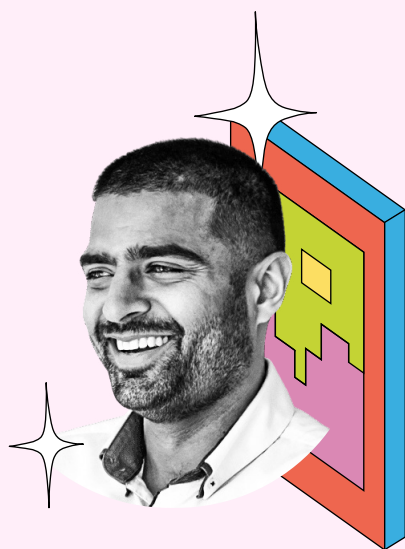
開発、審査しました。その傍ら、同チームはスマートコントラクトの作成と使用における生産性と安全性の双方を高めるツールも開発しました。今回の助成金は、TezosでのdApp開発を容易にさせるツール「Factori」の開発とこのオープンソース化のために活用されることになっています。

FutureSense は、韓国警察庁との取り組みの中で、DIDサブシステム、データインテグリティサブシステム、トークンベースのデータマーケットプレイスなどにTezosブロックチェーンの技術を組み込んでいます。このチームは、Nomadic LabsやTZ APACといったTezosのエコシステムメンバーと、技術的にもコミュニケーションレベルでも協力しています。第1フェーズは終了し、現在第2フェーズが進められています。

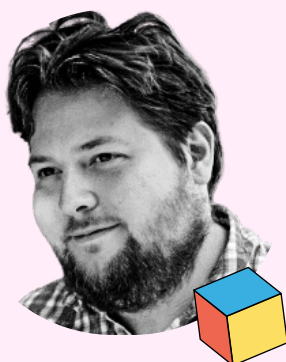
Global Infra Tech は、ブロックチェーンや暗号通貨との相互作用を促進する製品、サービス、アプリケーションの構築を専門とするテクノロジーのプロバイダーです。同社は米国とブルガリアにオフィスを構え、その主要製品2点、Crypto APIsとVaultodylに取り組んでいます。Crypto APIsは、ブロックチェーンデータ、開発者ツール、サービスのインフラ製品のセットで、複数のブロックチェーンプロトコルに迅速かつ容易なアクセスをもたらします。これにより暗号アプリケーションの構築を簡素化する統一のREST APIエンドポイントが得られます。また本製品には、ブロックチェーンイベント (Webhooks)、Node as a Service (共有・専用ノード)、オープンソースの鍵管理システムも含まれています。Vaultodylは、安全性の高いMPCベースのWallet as

a Service (ウォレット・アズ・ア・サービス) で、暗号資産の管理において先進のデジタルウォレットのインフラを実現します。この助成金は、Vaultodyの全製品ポートフォリオをTezosと統合するためのプロジェクト専用に適用されます。

Gravity はフランスを拠点とするチームで、個人や中小企業が本人に関する検証可能なデータをデジタルウォレットにまとめ、プライベートでポータブルかつ永続的な信頼できるデジタルアイデンティティを構築できるソ



Opsian
チーム



リューションを開発しています。デジタルIDプロジェクトでは、Spruce IDと共同で人道支援組織のためにオープンソースIDスタックを構築しています。支援活動の一環として、Tezosを基盤とするDIDと検証可能なクレデンシャルを世界中のNGOが使用するRedRoseシステムに統合しています。

Kukai は、Tezosベースの資産用の人気ウォレットを開発したスウェーデン企業です。DirectAuthを利用して、ユーザーがソーシャルメディアのアカウントを通じてウォレットを作成できる機能も搭載されています。助成金を活用し、UXやUIの改善、注目を集める分散化型交換などのdAppsとの統合、モバイルデバイスソリューション、さらにはスマートウォレットの機能など、ウォレットの開発を進めています。チームはコミュニティや開発者から寄せられるフィードバックを基に、新たな機能の導入を積極的に行っています。

MIDL.dev はエストニアを拠点として、Tezosのインフラストラクチャツールのオープンソーススイートを構築するためのステーキングをサービスソリューションとして提供しています。同社のサービスには、ベーカーがTezosブロックチェーンのスナップショットを簡単に取り込める方法として人気のページ「xtz-shots.io」があります。同社はインフラストラクチャを構築するソリューションを定額で提供しているので、顧客による直接的なステーキングが可能になります。MIDL.devは完全なベーキングインフラを複製可能かつ安全にコードとして実装するプロセスを簡易化しました。それによって、意欲的なTezosベーカーの参入ハードルを低めるのが狙いです。加えて、理想化された支払いや、ベーカー間で人気のツール「Tezos Reward Distributor」のさらなる改善の実装にも取り組んでいます。

Umamiは、初心者から上級者まですべての人にスムーズなユーザー体験を提供するTezosのデスクトップウォレットです。Tezosブロックチェーンへの貢献で知られる **Nomadic Labs** のチームによって作成・開発されました。Umamiはこれらのノウハウを結集し、オールインワンのデスクトップウォレットで優れたユーザーエクスペリエンスを提供しています。

Opsian はケンブリッジにオフィスを構える英国企業です。同社チームはTezos活動の継続的監視とプロファイリングを可能にするプロジェクトに取り組んでいます。その目的は、TezosのエコシステムがTezosノードのアプリケーションやシステムパフォーマンスを理解できるようにすることです。プロジェクトは、デフォルト・オンのメトリック、低オーバーヘッドインスツルメンテーション、そしてデータが取り込まれ、インデックスが付けられ、公開ダッシュボードにまとめられるという方法で、Tezos上のOCamlランタイムの継続的なプロファイリングを行います。

Papers は、他のTezos開発チームと協力しており、ユーザーがブラウザを介してTezos上に作成されたアプリケーションと相互に作用するのを助けるウォレットインタラクションの標準を作成しました。スイスを拠点に活動するこのチームは、エコシステムの数々のプロジェクトに貢献してきました。本書の他の部分で述べているプロジェクトに加え、AirGapウォレットの保守や、dAppとウォレットの接続をもたらすインタラクション標準のBeaconについても継続的な保守を行っています。

Satoshi's Closet は、米国を拠点とするクロスチェーンNFTを中心としたモバイルウォレットアプリの開発に取り組んでいるチームです。2019年からNFT空間に関わってきました。Tezosブロックチェーンを含む複数のブロックチェーン上でNFTをミントし、収集しました。チームは現在プロシューマーや初期のメジャーユーザー向けに、一次体験としてNFTの機能性を備えた、特別に設計されたマルチコイン、セルフカストディの暗号ウォレットアプリであるWLTを開発しています。WLTは、個人的な財務と社会的な事例を機能的に分離し（例えば、私的な金融取引対NFTの誇示）、隠しウォレットを含む複数のホットウォレットを直感的に管理するための斬新で直感的なUIが特徴です。WLTは、Satoshi's Closetの一連の製品の可視性と機能性を拡張するウェブベースの製品を伴う予定です。

Solvuu は米国を拠点に活動するチームです。プログラミング言語のOCamlとそのオンラインプレゼンスに注力しています。チームは、ocaml.org向けに新しい実装技術を選定し、現在のコンテンツをサイトの新しい実装に移行し、OCamlマニュアルをサイトに統合しているほか、継続的な保守や機能の拡張を行っています。

Tezos Reward Distributor (TRD) はTezosのエコシステムに貢献する世界規模のチームで、あらゆる規模のベーカーの報酬の支払いを簡素化・自動化するための支援を提供しています。

アプリケーション

Tezosは新しいタイプのアプリケーションを実現し、従来のソフトウェアスタックを使ってでは解決が困難だった問題に対処することができます。当財団は、Tezosプロトコルでの幅広い採用を進め、標準化や検閲耐性、ユーザーコントロールに役立つ新たなアプリケーションをサポートしています。

Agile Ventures チームはまた、評判のよいTezos Domainsプロジェクトにも積極的に取り組んでいます。Tezos Domainsは、ユーザーがドメインオークションに参加したり、自身のドメインを管理したりできるdAppです。また、Tezos Domains インデクサーと公開APIの負荷分散、地理的冗長性を備えた配置も見込んでいます。

Cryptocount は米国を拠点とするチームで、プルーフ・オブ・ステーク、報酬関連のTezosプロジェクトに携わっています。当チームは、ベーカーが課税報告を構築するためのツールを開発し、Cryptocountという名で上市されました。

Electis は、Web3 Tezosベースの電子投票プラットフォームを開発した組織です。このプラットフォームにより匿名のエンド・ツー・エンドで検証できる選挙が可能となります。Electisのソリューションは、すでに多くの地方自治体で市民関与のプロジェクトのために利用されているほか、電子ガバナンスツールとして世界中の組織や大学でも利用されています。

また、国連機関や国際的な気候変動に関する議論において、より民主的な意思決定をもたらすためのプロジェクトにも携わっています。

Pebbleは、分散型で完全検証可能、かつ自己集計可能な電子投票システムです。**Giry**のヨーロッパの研究者と専門家で構成されるチームによって構築されたPebbleは、有権者のプライバシーを守り、結果の透明性を確保し、分散型ガバナンスの仕組みに持続的な信頼性を生み出しています。その他の電子投票プロトコルとは異なり、投票時に投票用紙を暗号化し、選挙終了前になりすましや開封ができないように難易度を調整した上で、分散型かつ一般にアクセス可能な掲示板に公開します。

GK8 はイスラエルを拠点とする大手プラットフォームで、DeFi、ステーキング、NFT、トークン化をサポートする機関レベルの自己管理型デジタル資産カストディ・プラットフォームを提供しています。本チームは、FA1.2およびFA2トークンの統合やTezos dAppの接続性など、GK8のカストディ・ソリューションとTezosブロックチェーンの統合に取り組みました。

Kontera はスイスを本拠地とし、人工知能と高度なヒューリスティクスを用いて請求書や領収書から情報を抽出し、請求書を会計システムに自動計上するエンジンで会計をデジタル化する、中小企業向けのツールを開発しています。機能に関する顧客からの要望で最も多いのは、Konteraで事務処理の済んだ紙の書類や領収書を廃棄できるようにしたい、というものです。これを行うには、文書が改竄されないこと、監査証跡が保証されるなど、様々な法律に準拠する必要があります。そのため、文書アーカイブのコンプライアンスを保証できるようTezosブロックチェーンを統合しています。

DeFiスペースでの仕事に加え、**Madfish Solutions** はTezosの様々な資産基準、NFT、ステーキング、dApps、エクスペローラなどを統合的にサポートするUXに焦点を当てたフル機能のウォレット「Temple」の仕事を継続的に推進しています。このウォレットは現在、デスクトップだけでなくモバイルでも利用可能となりました。

Papers のチームは、WordPress サイトの主力eコマースソリューション「WooCommerce」用に簡易な決済ゲートウェイ・プラグインを開発し、オンラインショップをTezosのエコシステムに取り込むことに貢献しています。この統合でTezosのネイティブトークン「tez」とTezosのFA2トークンの基準をサポートし、オンラインショップでuUSDやkUSDなどの資産を決済手段として利用できるようになります。

Serokell はカスタマイズ型の高性能ソリューション開発に注力しているソフトウェア開発会社です。エストニアを拠点とするこの研究開発企業では、ステーブルコインやラップアセットなど、さまざまな開発者ツールやTezosスマートコントラクトの開発・保守に取り組んでいます。また、Tezos Agora、Kiln、TZIPエクスプローラーといったエコシステムの各種ツールやプラットフォームのメンテナンスもサポートしています。

Talao は、Tezos上でデジタルID分野のソリューションを実装しているフランスの企業です。この分野に携わるほかのエコシステム企業との協働により、従業員やフリーランサーとしての人材や、顧客としての企業に、専門的な検証可能資格情報を発行できるソリューションを構築しています。このソリューションは、人材に自身の専門的なスキルや経験に関する資格データを、将来の雇用主にTezos上で分散形式により提示できる仕組みを提供しています。

Tangany は最近Tezosのエコシステムに積極的に参加しているドイツの主要なデジタル資産のカストディプロバイダーです。助成金プログラムの一環として、Tezosを自社のソリューションに統合し、ヨーロッパ中のB2Bブロックチェーンエコシステムに広くリーチしています。

イスラエルを拠点とする **Central Bottling Company** は、Tezos イスラエルとの共同により、同社ボトルの高品質な生産を実現するための、追跡&トレースのソリューションを開発しています。Central Bottling Companyのボトルは、原料収穫の時点からお客様の食料品店で購入されるまで、Tezos上で追跡されることになります。

Blockchain Xdev は、フランスを拠点とする企業です。Tezosで各種分野でいくつかのプロジェクトを手掛けています。この助成金により、チームは分散型デジタルパスポートソリューションの開発を進めています。チームは、Tezosブロックチェーンを利用して車両データを認証・共有するブロックチェーンベースのマルチパートナープラットフォームのMVP版に取り組んでいます。

Xcap Ecosystem は、英国を拠点とする企業です。金融機関がデジタル証券を発行して取引できる、TezosブロックチェーンをベースにしたE2Eのデジタル証券プラットフォーム「Ownera」の開発に取り組んでいます。同社のプロジェクトでは、FinP2Pの仕様に対応するデジタル証券トークン化ソリューションをTezosブロックチ

ェーン上に実装し、組織がTezosブロックチェーン上でデジタル資産を発行できるようにすることを想定しています。FinP2Pノードを使用してTezosブロックチェーン上で発行された資産を他のFinP2Pノードに公開でき、そのノードのユーザーが投資できるようにすることで、グローバル流動性を提供します。

アートと収集品

安価な燃料費でエネルギー効率の良いブルーフ・オブ・ステーキのブロックチェーンとして、Tezosは多くのアーティストや組織のデジタル商品の作成に選ばれています。そうした商品の一例として、NFTは引き続きTezosで爆発的な人気を得ています。このようなプロジェクトにTezos Foundationが助成金を交付することで、エンドユーザーにとってTezosが身近のものとなり、経ては世界中でTezosが普及していくことになります。

AllTokenFootball はスイス発のプロジェクトで、Sports 3.0の実現を目標としています。AllTokenFootballプラットフォームによって、サッカークラブやリーグはサッカーが生み出す情熱や経済利益を活用し、サッカーコミュニティの社会経済的スペクトルに渡る結束やエンゲージメントを生み出すことができます。サッカークラブのパートナーとしてAllTokenFootballは、スポーツクラブやリーグがコミュニティ内の資本増加のためのイベントを介してデジタル資産を管理し、ファンたちのスポーツへの愛情やクラブに対する情熱をファンのデジタルライフと同調させることで、デジタル収入を再獲得するべく貢献します。

Amplify Creative Group は米国を拠点にするクリエイターのためのフラクショナル・オーナーシップのプラットフォームです。し、チームは2つのフェーズに分けてTezosに取り組んでいます。第1フェーズではAmplifyXへの投資ごとに発行されるクリエイター向けのトレーディングカード型NFTの開発を行い、第2フェーズではクリエイターが独自のNFTを作成できるキュレーション型NFTプラットフォームの開発を行っています。このマーケットプレイスで、クリエイターは自身のファンやコレクターのコミュニティを巻き込みながらコンテンツを収益化する能力が得られ、一方でバイヤーは購入したアートの独自性や真正性に対して確信を得ることができます。

Arago は、分散型デジタルの文化的アイデンティティの構築におけるヨーロッパのパイオニアとして、その地位の確立を目指しています。このフランスのスタートアップ企業は、その文化・クリエイティブ産業がそのオーディエンスのためにWeb3経路の作成と展開を実現させるためのツールを開発しています。本チームは、ヨーロッパの文化・クリエイティブ産業のすべてのプレイヤーが、次に掲げるようなブロックチェーンテックの可能性を活用できることを目標としています。NFT、コイン、クレデンシャル、ウォレット、その他の技術をSaaSソリューション

で利用すること、また一般市民が自分の資産やデジタル文化的アイデンティティを効率的に管理できる無料のモバイルウォレット

Blackbook は英国を拠点とするチームで、「BLCKBOOK」の制作に取り組んでいます。これはゲーマーがNFTとしてストリートアートを描きながら、他のギャングと縄張り争いをするインタラクティブなNFTゲームです。BLCKBOOKは、例えて言うならばポケモンGOとNFT、そしてバンクシーの融合です。BLCKBOOKプラットフォームでは、ユーザーは気に入ったグラフィティを写真撮影することができます。毎週コミュニティが投票して最も優れたグラフィティが選ばれると、その勝者はNFTとしてミントされ、販売したり、各エリアのテリトリーの請求に利用できるようになります。

Block and Byte Technologies は、インドに拠点を置く企業で、主要市場のためのオープンNFTプラットフォームに加え、固定価格、英国のオークションと収集品をサポートする二次市場のNFTセールス向けにもプラットフォームを構築しました。今回の助成金は、ByteBlock NFTプラットフォーム上のオークションと二次セールの開発支援に使用されます。

米国が拠点の **Bookit** は、本の著者に焦点を当てたUI/UXのNFTマーケットプレイスを生み出しているプロジェクトです。クリエイターは、単一または複数のアセットを、NFTとして封印、消費可能な電子書籍を構築します。このプロジェクトでは、TezosのNFTとして電子書籍の作成とアセットストレージが実現します。これがTezos上のdApp開発に新たなユースケースをもたらし、著者やクリエイターがWeb3やTezosに移行するにつれて価値が高まっていくものと思われます。

CADAF (Crypto and Digital Art Fair) は、アーティスト、キュレーター、コレクターがデジタルアートとNFTを見出し、購入し、学ぶための完全なエコシステムです。CADAFのマーケットプレイスは、キュレーターやアーティストがキュレーションの発想を得、デジタル展示を創作し、コラボし、新しい才能を見出すためのツールとなります。CADAFは、世界中で開催されるアートフェア、フェスティバル、教育プログラムなどの専門プログラムを介して、デジタルおよびニューメディアアートの普及をサポートしています。

CIRCA (The Cultural Institute of Radical Contemporary Art) は、ロンドンを拠点とする機関で、アイ・ウェイウェイ、ヨーコ・オノ、マリーナ・アブラモヴィッチなど世界的に名高いアーティストたちとコラボし独自のアートパフォーマンスを発表しています。本助成金により、CIRCAはTezosのブロックチェーン上で「The Hero 25FPS」プロジェクトを実現させ、アブラモヴィッチにとって初の、ブロックチェーン上でのパフォーマンスを展開しています。

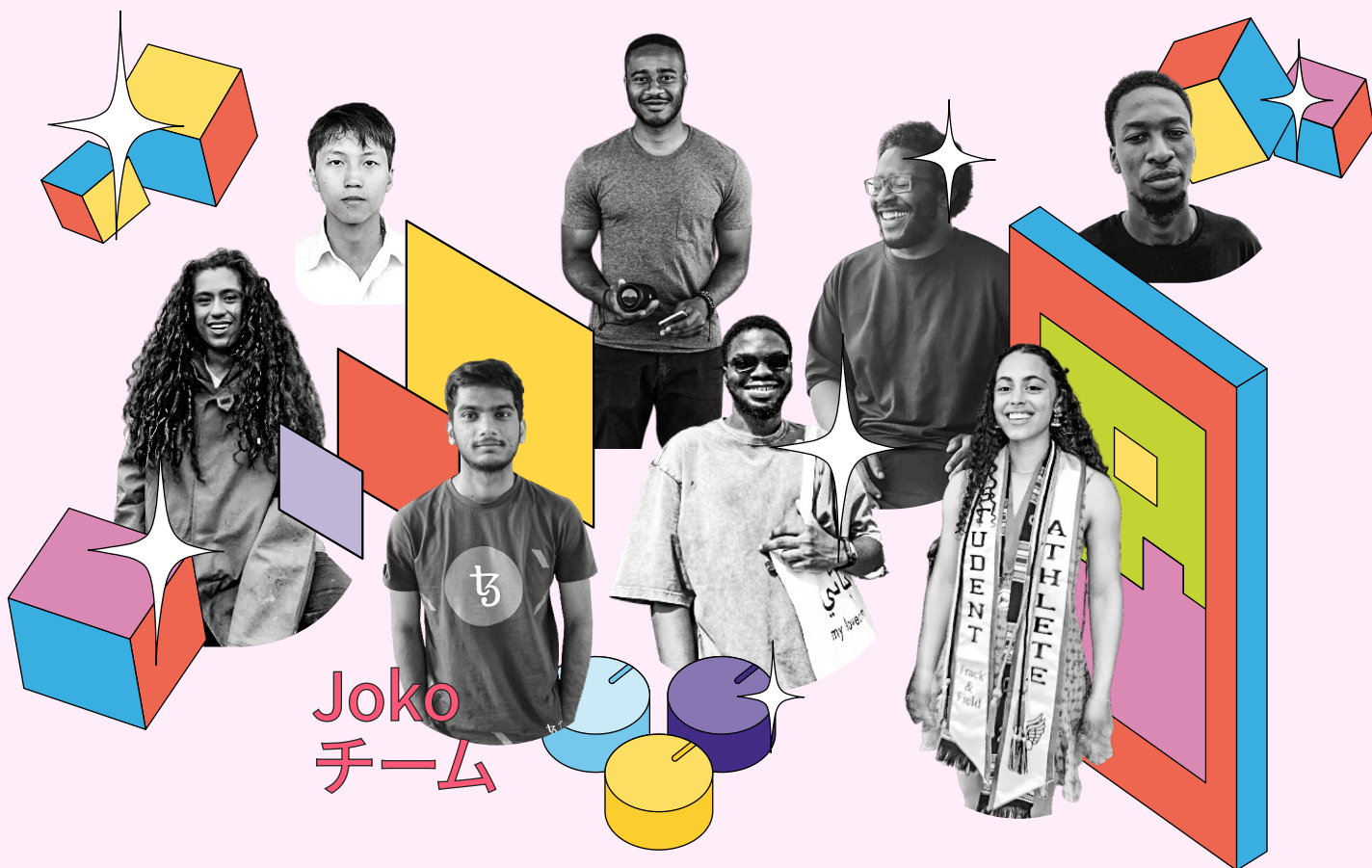
DNS は米国を拠点とし、NFTのコレクターやクリエイター向けにすべての資産を一元的に把握できるソリューションを提供しています。このソリューションでは、リンクを共有するために分散化された美しい「Linktree」ウェブサイトと、ワンクリックで素早く読み込めるNFTギャラリーが提供されています。DNSでは誰もがTezosウォレットでログインすることで個人のウェブサイトを作成でき、NFTのより良い発見とギャラリーツール（単なる店舗ではない魅力的なボードやギャラリー）、ソーシャルおすすりが作成でき、ユーザーがNFTをキュレーションしたり評価することが可能になります。

auraNov は、NFTサッカーマーケットプレイスGolden Goalsの立役者であるフランスのチームです。Golden Goalsは、Tezosブロックチェーンを基盤とし、サッカーのアートに特化した初のデジタルアートギャラリーです。Golden Goalsでは、ユーザーは何千人ものファンによるクラブ限定のコンテンツやデジタルアートワークを収集、表示、作成、取引することができます。さらに、auraNovはNFTマーケットプレイスのフォーマットを再現したいユーザーのため、ホワイトラベルで提供しています。

FloSports は米国を拠点とするメディア企業で、競技スポーツの生中継やオンデマンド配信を行っています。20万以上のスポーツ競技を生中継またはオンデマンドで視聴できるほか、25種類以上のスポーツの舞台裏を独占取材した番組、その他オリジナル番組を提供しています。2022年以降のイベントやNFT（ファントークン）に、Tezosを優先ブロックチェーンとして選択しています

Joko 米国を拠点とするプロジェクトで、レコーディング・アーティスト向けにトークンゲートの動画ストリーミングコンテンツのプラットフォームを作成しました。これは現在Tezosに移行中です。Web3テクノロジーを活用せずに開始された最初のJokoプラットフォームでは、アーティストは現在のビデオストリーミングの収入の50倍以上の収入を得ることができます。チームは今、同モデルを拡張し、レコーディング・アーティストに対しより高いロイヤリティをリアルタイムに提供するため、Tezos上に構築することを選択しました。本チームは、世界中のレコーディング・アーティストを取り入れ、独占コンテンツのライブラリーを拡大させています。

McLaren Racing は、Tezosで次世代NFTプラットフォームを開発しており、ファンや消費者を体験の中心に置きます。マクラーレン・レーシングは、F1、インディカー、eスポーツなどのプログラムを通じて、Tezos上にいくつかの最高かつ大人気の発行資産を保有しており、次世代のデジタルコンシューマーに対し、様々なマーケティング活動に参加しながらチーム独特の作品を所有する機会を提供しています。マクラーレンがTezosブロックチェーンを選択した理由は、その先駆的なプルーフ・オブ・ステーク技術と持続可能性への信頼にあります。2021年に始動したTezos上のNFTシリーズが大成功を収めた現



在、パートナーシップとNFTを未来に向けて大胆に拡大し、レーストラックの外でも前進を続けています。

Proof of People は、ロンドンで行われた初の没入型、3日間のフェスティバルで、ここではメタバースカルチャーとNFTのサポート技術の視点を踏襲したアート、ファッション、音楽が紹介されました。VerticalCrypto Artが主催したこの初のProof of Peopleイベントは、2022年7月に開催されました。フェスティバル参加者は、Tezos上で自らのNFTをミントするよう招かれ、没入型のパフォーマンスやパネルディスカッションに参加しました。

Red Bull Racing は、**Oracle Red Bull Racing** とも呼ばれ、チャンピオンの座にもついたF1レーシングチームです。F1では革新的な技術が常に求められ、レースの都度マシンは進化・発展していきませんが、Tezosもちろん例外ではありません。自己アップグレードするよう設計されたTezosは、ブロックチェーン技術の最先端を走り続けています。マックス・フェルスタッペンがチャンピオンの座を得た2021年、オラクル・レッドブル・レーシングがTezosと提携する運びになったのも自然な結果と言えるでしょう。その省エネ設計もチームの長期的な環境目標と一致しているという点は非常に重要です。そしてF1ではカーボンニュートラルを目指していることから、Tezosは先駆的に開発した低負荷方法論が貴重な資産となります。さらに、Tezosに取り組むことで、チームはNFTの開発を通じてファンとのエンゲージメント獲得を最大化できます。レッドブル・レーシングは、ブラン

ドのイノベーションと画像と映像をファン体験の最前線に置き、ファンがオラクル・レッドブル・レーシングの歴史の一部を所有することができる収集可能なNFTエコシステムを開発しました。

Superstar Xchange は米国を拠点とするチームで、ボリウッド初のセレブリティNFTマーケットプレイスであるSuperstar Xchangeを開発しました。このプラットフォームではセレブのクリエイターがトレーディングカード、アート作品、音声やその他の独占デジタル収集資産の所有権を提供するデジタルトークンを販売できます。トークンはオークションまたは事前設定の価格モデルで販売され、各クリエイターと共同で設計されます。

Tezos Foundation常設アートコレクション は、Tezosのプロトコルを探求するアーティストや文化組織を称賛しています。このコレクションのミッションは、アートの世界においてブロックチェーン技術の認知度と採用を高めることです。これはTezosがTezos上に構築された機関やアーティストの執事役として支援し続けることで成し遂げます。**マイサンハリマン** がキュレーションを手掛けた **Tezos Foundationデジタルアートギャラリー** は、常設アートコレクションの部分としてTezosエコシステムで活動する厳選アーティストのコレクションを紹介しています。

The Tickle は英国を拠点とするNFT週刊誌です。コンテナラリー・デジタルアートとクリエイティブ・ライティングに焦点を当てたもので、Tezosのアート圏では文化的試金石となっています。この助成金により、チームはTezos上にプラットフォームを構築しています。これまではPDFで配布されていたThe Tickle誌ですが、これをインタラクティブでダイナミックなエディションとしてホストし、Tezos上で極めて強力に成長し続けるアートNFTコミュニティを引き続きサポートしていきます。

3人の女性詩人によって設立された **theVERSEverse** は、NFT初の文学ギャラリーです。テキストはアート、詩はテクノロジー、言葉に限りはないというスペースです。theVERSEverseは、コレクターが詩人を見出し、詩人がメタバースの無限の可能性を発見するという、キュレーションされたプラットフォームです。重要なこととして、ジェネレーティブ・テキストを革命的な文学芸術形式と位置づける「GenText」のハブでもあることです。NFT文学ギャラリーは、ブロックチェーンの技術を介して芸術作品としての詩の価値を明らかにさせることに専念しています。今回の助成金は、ギャラリーのWeb3機能の開発、そしてプロモーションやオンボーディング活動の支援に活用されます。

VerticalCrypto Art は、NFT分野に注力している英国企業です。チームはメンタリングプログラムを提供し、アーティストやクリエイティブな活動をする個人としてTezosエコシステムをどうナビゲートするかという面でサポートを行っています。具体的にはNFT、オン/オフチェーンの基本、暗号通貨ウォレットの安全性とセキュリティに関するコースのほか、Tezosブロックチェーンに特化した専用メンタリングプログラムがあり、Tezosベーシック101、ブロックチェーンの将来的な発展、Homebase DAO101、ワークショップなど様々なテーマを扱っています。その目標は、アーティストがTezosエコシステムにどう貢献できるかについて紹介することです。これに加え、チームは2022年7月に「Proof of People」を開催しました。これはロンドンで行われた初の没入型、3日間のフェスティバルで、メタバースカルチャーとNFTのサポート技術の視点を踏襲したアート、ファッション、音楽が紹介されました。

ゲーミング

ゲーミングは、ブロックチェーン技術のさらなるアプリケーション分野であり、重要な市場です。Tezos Foundationは、ここ数カ月でゲームに関連するスマートコントラクトの活動が活発化し、助成金申請が増加していることを認識しました。その取り組みにおいて、財団は、開発者用ツールからインディーズスタジオやAAAゲーム開発者のサポート、Tezos上でeスポーツチームが構築したプロジェクトを通じたメインストリームの採用達成まで、採用戦略をフォローしています。その他のゲーミングプロジェクトについて、本報告書の「投資」のセクションでもご紹介しています。

Blockchain Alchemy は米国を拠点とするチームで、PiXLとTez Runを開発しています。PiXLは、プレイトウアーンのモデルを搭載した進化型のNFTロールプレイング型のゲームで、そのプレイヤーは、Tezosのアーティストが作成したNFTを獲得することができます。Tez Runは、競馬を体験できるシミュレーションゲームです。

このゲームでは、プレイヤーはデジタル馬のNFTを所有して取引が行えます。また、プレイヤーは、レースにランダム性を注ぐオラクルとシステムが相互作用する傍ら、Tezosのスマートコントラクトを使って報酬を賭けるというレースも可能となる予定です。

Team Finest はイスラエルのeスポーツクラブで、Tezosイスラエルと提携し、ファンのためにTezosでNFTを作成するとともに、eスポーツ領域でのブロックチェーン採用のための教育活動に取り組んでいます。これを実行する上で、Team Finestはソーシャルメディアチャンネルを活用してオーディエンスに向けたコミュニティの構築と教育活動を行い、Web3分野へとオーディエンスを促すものとしています。また、Team Finestは、NFTオーナー向けに、レベルごとに異なるユーティリティを備えたメンバーズクラブを構築する予定です。

Misfits Gaming Group (MGG) は、米国を拠点とする国際的なeスポーツ・エンターテインメント企業です。世界でも有数のゲームタイトルの対戦を行っています。MGGはTezosブロックチェーンを技術パートナーとして選択し、様々なプロジェクトをTezosブロックチェーン上に構築しています。さらにMGGの新しいブロックチェーンゲームプラットフォーム「Block Born」のローンチパッドを提供する予定です。これに加え、競技中はTezosブランドが目に見える形でチームを後押しします。

Talao と **Gif Games** (Tezotopia, Matter-light) のチームは、暗号ゲームTezotopiaとメタバースのためのSSI技術を共同開発しています。

助成金は、Gif GamesとTalaoのパートナーシップを支援します。自己主権型アイデンティティ (SSI) の概念と技術ソリューションを使ってTezotopiaゲームの革新的な機能を開発するとともに、トラフィックの増加や新しいプレイヤーの勧誘を促すために使用されます。

2013年に創設された **Team Vitality** は、フランスを代表するeスポーツチームです。パリ中心部を拠点とし、ベルリンとムンバイにパフォーマンスセンターを構える同チームは、現在ヨーロッパでも有数の影響力を持つeスポーツクラブです。Counter-Strike、League of Legends、Rocket League、Fortnite、Valorant、FIFAなどの大規模なeスポーツ大会に参戦しており、100以上の国内および国際的な王者の地位を獲得しています。国際コミュニティとの全く新しいファン体験を開始するため、Tezosブロックチェーンを主要な技術パートナーとして選択しました。



DeFi

Decentralized Finance (DeFi) は、ブロックチェーン上に構築された分散型金融インフラストラクチャの構築を指すものです。Tezos Foundationは、この応用分野におけるTezos技術の役割を強化するために、必要なインフラストラクチャ、共通財、ツールを構築するプロジェクトに助成金を交付しています。

本報告書に含まれる他のプロジェクトに加え、**Baking Bad** は、デジタル証券（セキュリティトークン）やその他のTezos資産基準にさまざまなアトミックスワップ実装を提供する柔軟なプログラムモジュール集Atomex STO Gateも手掛けています。

Ejara は、アフリカ大陸のフランス語圏市場向けに登場した、投資と貯蓄へのアクセスを民主化するモバイルプラットフォームです。暗号通貨やトークン化された資産に対応し、今後数か月でさらに金融資産を追加していく予定です。カメルーンを拠点とするEjaraは、この助成金を使って顧客の要望であるステーキング、無損失くじ、NFT統合などの新商品の提供を行い、さらに多くの顧客の獲得を目指しています。

INABLR は、バーレーン中央銀行（CBB）の公認サンドボックス参加企業で、金融商品およびオルタナティブ投資商品のフラクショナル・オーナーシップのプラットフォームの開発を目指しています。

Indivio は、Swiss Banking Mapを開発した企業です。チームは現在、Swiss Banking Mapの情報を頻繁に更新する企業に対して報酬を授与するという、Tezosベースのデータ保守インセンティブコインの開発に取り組んでいます。Swiss Banking Mapは、スイスの銀行業界のためのコラボレーション・プラットフォームです。企業は、コミュニティが提供するソーシング関係やソフトウェアの使用状況に関する情報、さらに他企業からの情報にアクセスすることで、新たなソーシング関係を築くことができます。獲得したコインは、プラットフォーム上の広告掲載や、会費の割戻金に使用することができます。

Kord.fi はトルコに拠点を置くチームで、ユーザーがTezosの流動性ベーキングに参加するためにXTZまたはtzBTCを借りることができる貸し借りのプラットフォームを開発しています。このプラットフォームにより、ユーザーはレバレッジを効かせた流動性ベーキングによってより高い年率利回り（APY）を生み出すことができます。

Madfish Solutions はTezosエコシステム内の様々なスペースにおいて活動的です。DeFiの取り組みの一環として、Tezos上で卓越したDEX、QuipuSwapを開発しました。QuipuSwapは安全で分散化された検閲耐性のある方法で、Tezos上のトークン/資産のシームレスな交換を可能にするプロトコルです。Madfishはまた、オープンソースのTezosベースの融資プロトコルであるYupana Finance手掛けました。

Nyayomatはケニアを拠点とし、Tezosをベースにした「Nyayomat Alternative Credit Platform」の開発に取り組んでいます。Nyayomat Alternative Credit Platform (ACP)は、資産や運転資金を求める中小企業と、融資を望むAPの仲介役となることを目指しています。技術的には、スマートコントラクトを使用して融資の流れを実行し、Tezosブロックチェーンが取引の安全な台帳を確保します。

OpusDei は、エストニアに拠点を置くプロジェクトです。Tezosで預金利息の受取りと借入れができる、コミュニティ管理式のオープンソース分散型金融サービスを作ることを目標としています。このプロジェクトは、ユーザーが提案し、議論し、変更を実行することが狙いです。Tezosのエコシステムを利用して、非技術系ユーザーにも使いやすいオープンな製品を制作し、より多くの人にDeFiの可能性を広げたいと考えています。

Papers はスイスのチームです。Tezosのエコシステムで活発な開発を行っています。youves、その他のプロジェクトのほか、必要なスマートコントラクトの開発など、Tezos上の合成資産のオープンソースビルディングブロックを構築しています。構築されたビルディングブロックは、Tezosのエコシステムに組み込まれるように設計されており、一般的に使用されているトークン規格に準拠し、評判を得ている分散型取引所と相互作用するように構築されています。こうしたビルディングブロックの

最初のユースケースとなるのが、プライマリーマーケットプラットフォームでの貸し借りの統合です。

Lyziは **Proofeo** が開発した暗号ウォレットで、日常生活におけるロイヤリティやキャッシュバック 3.0 といった暗号ベースの機能を民主化し、実現することを目的としています。Lyziは、フランスの規制下にある暗号資産プラットフォーム「Zebitex」にtezを展開したいとしています。さらに、チームはTezosのブロックチェーン上に独自のユーティリティ・トークンを作成し、それをDeFi (\$Eazyトークン) に加えLyziとZebitexのエコシステムにも投入する予定です。

RAZ Finance チームはセルビアとイスラエルを拠点とし、経済、社会、環境の成果に関する検証済みデータを、特定のタイムライン、個人、影響テーマ、その他取り組みと結びつけています。最初のオープンソースのRAZ dAppはTezos上に構築されてDigiSignと統合されました。これにより、ステークホルダーは存在証明を検証することができます。RAZは、人と地球に恩恵をもたらす変化に向かって行われる進捗を認証するため、成果重視で評判に基づいたエンゲージメントを促進する分散型ネットワークとして活用されています。RAZは、デューデリジェンス、デジタル資産取引、そして世界を変える機会に向かう資本配分の革新的なアプローチを創造しています。

Rocket Launchpadは英領ヴァージン諸島を拠点とし、DeFiウォレットサービスとCrunchy Network上で動作するDEXアグリゲートサービスを開発しました。Tezosブロックチェーン上では、プロジェクト、トークン、NFT、ファームの氾濫数が継続的に伸びており、どのユーザーにとっても管理が困難な状況となっています。このウォレットは、ユーザーが自分の資産、保管庫、ステーキングされたトークンを簡単に追跡可能で、それらの価値の一元表示に役立ちます。DEXの増加に伴い、現在の取引所間で最も流動性が高く、最良の価格を積極的に探すトレーダーも増え続けることでしょう。Crunchy Networkはユーザーに対し、最も低いスリッページとなる価格と流動性に基づいた最適なスワップルートを推奨し、すべてのDEX間で自由に取引できるようにするDEXアグリゲートをホスティングします。

Vortexは、**Smartlink**が導入したエンドツーエンドの分散型交換です。VortexはTezos上に構築された様々なDeFiアプリケーションで構成されています。Vortexユーザーのための自動バーニングシステム、CheckerのCFMMフラットカーブ、FDA1.2（自動バーニングと送金メカニズムを備えたトークン基準）、今後公開のDAOなど、いくつかのDeFi機能をはじめとするスケーラブルな交換アプリケーションの持続可能なエコシステムの構築を目指しています。

Tezsure はオランダとインドを拠点とする、熱心でやる気に満ちたチームであり、2018年以来ずっとTezosで開発を続けています。2020年、Tezsureはその焦点をDeFiとモバイルに変え、シードラウンドを調達しました。それ以来、チームはPlenty、Naanウォレット、Flutter/Dartライブラリ、ctezのフロントエンドを開発してきました。この助成金により、Tezos上で最大のDeFiプラットフォームの1つであるPlentyをさらに発展させ、Plentyにトークン・トゥ・トークンの自動マーケットメーカー（AMM）を追加しました。TezsureはWrap ProtocolとPlentyの合併を先導し、WrapとPlentyの補完技術と流動性の統合機会を実現させ、大量のステーブルスワップを含むオールインワンDeFiプラットフォームを作り上げました。

また、Plentyはステーブルスワップの大規模なコレクションを提供しています。

Wealthchain Inc.は米国を拠点とする企業です。Tezos上でUSDtz、ペグド・アセット、その他の金融商品などのステーブルコインを通じてTezosエコシステムに貢献するとともに、コミュニティメンバーとして数多くの公の場に参加しています。ステーブルコイン「USDtz」の監査報告書を毎月公開するための助成金を受け取っています。

決済ソリューション

Tezos Foundationは、Tezos上で決済ソリューションを構築するプロジェクトに助成金を交付しています。こうしたサービスは、チップの支払い、リアルタイム、「ストーリーミング」決済など、tezの決済への統合や利用を目的としています。また、決済ツールやアプリケーションに統合できるようにすることで、複数の関係者が数クリックで条件付支払いのための契約を簡易に作成できるよう支援します。

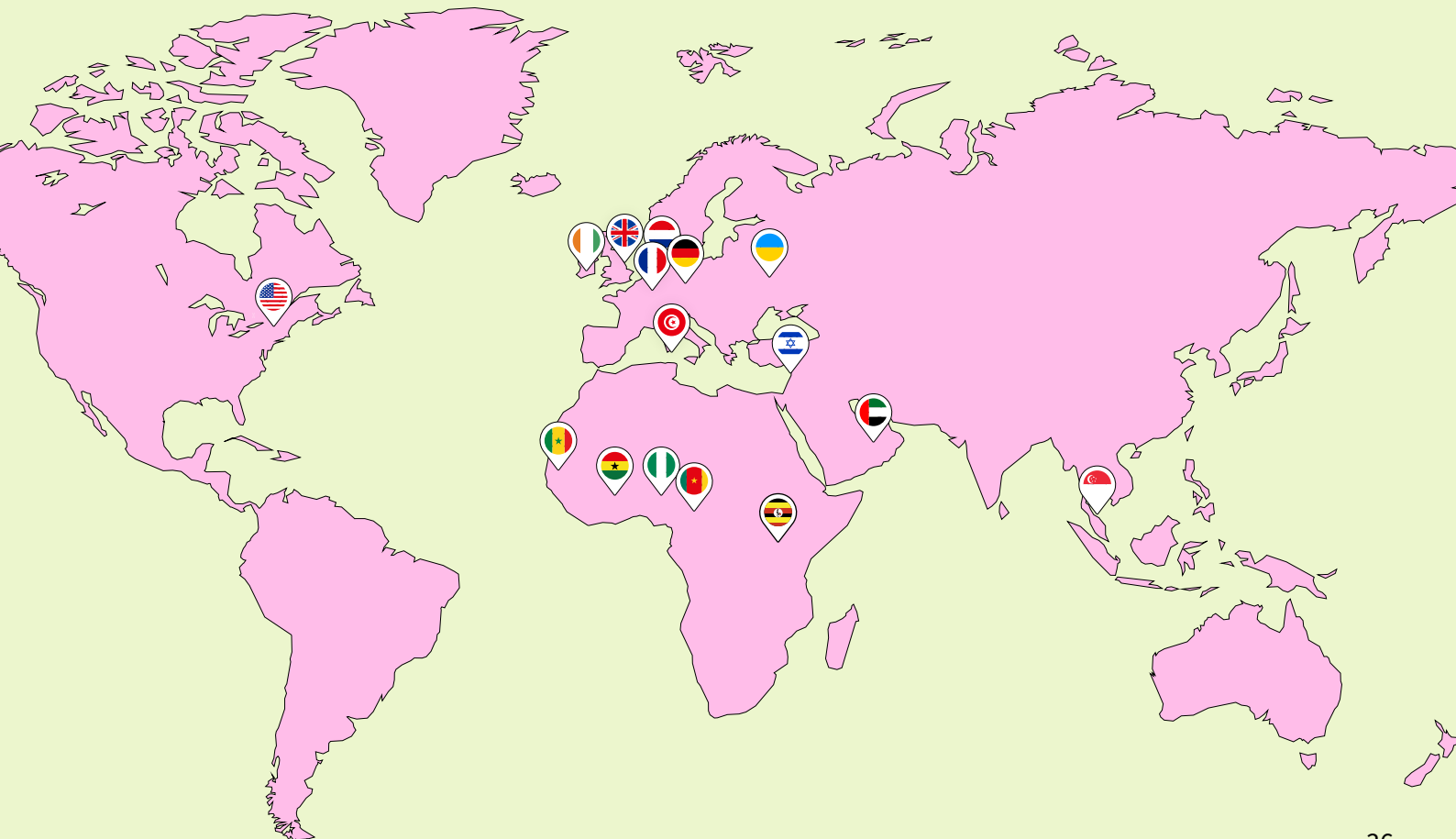
Al Bawaba Group はアラブ首長国連邦に拠点を置くメディアグループです。Tezosブロックチェーンを活用し、コンテンツクリエイターをビジネスモデルの中心に据え、視聴者の直接的支払いとコンテンツのトークン化によってクリエイターへの支援を実現することで、アラブ世界のデジタルコンテンツの未来を前進させることを目指しています。

Hexa Solutions はBeezプラットフォームを開発しているフランス企業です。このプラットフォームは都市や地元企業向けのホワイトラベルソリューションです。モバイルアプリケーションを通じて市民にアプローチするコミュニケーションツールや、地元企業や市の管理者向けのダッシュボードを提供しています。Hexaは、Tezosブロックチェーン上でロイヤリティとバウチャーのプログラムを導入し、企業のオーナーと市政管理者による地域の公共生活の活性化実現をサポートします。

工 率
井 一
高 効 率

コミュニティ助成金

Tezosはデジタルコモンスウェルスとなることを意図して作られました。プロトコルは、検閲への耐性がある（ネットワークを潰すことが実質不可能）トランザクション、プルーフ・オブ・ステークに基づくコンセンサスアルゴリズム、および組み込み、オンチェーンガバナンスを通してコミュニティの個々のメンバーに権限を与えることを計画して作成されました。協調的でオープンなグローバルコミュニティを目指してこの設計が選ばれました。Tezos Foundationは、世界中のコミュニティが成功するために必要なサポートを得られるように、コミュニティの発展、マーケティング、イベント、およびTezosエコシステムを成長させる他の努力を支援する団体に資金を提供しています。2021年半ばから、エコシステム内のいくつかの事業体が各々の地域を支援するための小規模な助成金プログラムを始めており、各社で独立して連絡・管理しています。



Bat-Yam Municipality は、**Tezos イスラエル** との共同で、ロンドンや日本のタイムバンクモデルに類似した地域インセンティブトークンを開発し、コミュニティの関与を育んでいます。このプロジェクトの一環として、公立学校の生徒がTezosのNFTコレクションを作成し、エルサレムで開催されたOECD教育グローバル会議で発表しました。

暗号コインの詐欺と戦うマケレレ大学ブロックチェーンクラブとしてスタートした **Blockchain Club of Uganda** は、2021年に法人組織となり、現在は大規模なアウトリーチプログラムを通じてブロックチェーンを国内の他の地域に拡大することに注力しています。現在では、開発者、技術系の学生、Web3、NFT、ブロックチェーン、暗号愛好家たちを取り込み、地域のTezosコミュニティの成長に力を入れています。

Blokhaus は、Web 3.0とブロックチェーンの領域に特化したマーケティングコミュニケーションエージェンシーです。Tezosのエコシステムの様々なチームと連携し、マーケティング、コミュニケーション、PR活動の促進を行っています。現在までにArt Basel、Unsplash、レッドブル・レーシングからマンチェスター・ユナイテッド、その他様々な継続的な広告キャンペーンやローンチ活動など、注目度の高い活動におけるリーダーまたはサポート役として携わっています。成長し続けるエコシステムの一部として、PRの観点から情報共有や調整の役割を担っており、SNSやその他の重要なチャンネルに向けたマーケティングや教育用コンテンツの制作も支援しています。

Entrepreneur First は、世界で最も野心的な人々にゼロからグローバルなテクノロジー企業を立ち上げるためのプラットフォームを提供する人材投資会社です。Tezos Foundationと協力しながらロンドンでWeb 3.0に特化したプログラムを実施し、現地のWeb 3.0エコシステムを成長させてTezos技術の採用を支援しています。

Manchester United は世界でも大人気のスポーツチームであり、大勢の観客を動員しています。144年の歴史の中で66個のトロフィーを獲得しており、世界有数のスポーツブランドとなり、ファンやフォロワーは11億人の国際コミュニティに発展しています。2022年2月11日にTezosとのグローバルパートナーシップを発表して以来、このコラボレーションはスポーツ界で最も話題になったトレーニングキットの発売となっています。世界のサッカークラブで最も話題となったこのトレーニングキットの発売は、次点のクラブよりも156%高く言及され、発売からわずか72時間でグローバルにカバーする990件以上のアイテムが、340万回の契約をもたらしました。今回のパートナーシップでは、Tezosはクラブのメンズおよびレディースのトレーニングキットで採用される予定です。さらに、クラブのトレーニングキットにTezosのブランドロゴが表示されることに加

え、Tezosブロックチェーン上に構築される新しいファン体験や、地域社会の若者を訓練、教育、刺激するマンチェスターユナイテッド財団の活動に対する継続した寄付を支援する誓約が含まれる予定です。

French IOI Association は、既存のコンテンツ、コミュニティが作成した新しいコンテンツ、そして何よりも、Tezosとスマートコントラクト開発に関する学習を効果的で、興味深い、やりがいのあるものにするインタラクティブな活動を統合したプラットフォームの開発に取り組んでいます。そのために、opentezos.comを、誰にとっても、特に大学において、ブロックチェーンとスマートコントラクトの開発について学ぶ上で「選ばれるプラットフォーム」そして「選ばれるブロックチェーン」とするために変革していきます。

開発作業に加え、**Nomadic Labs** はフランス、ルクセンブルグ、オランダ、ベルギーのエキサイティングなプロジェクトにおいて事業開発や企業支援の事業体としても活動しています。チームは、こうした国々の経済・産業構造において分散型アプリケーションの構築を支援するエコシステムを作り上げています。また、企業や機関 (Banque de France、Société Générale、BNP Paribas、EDF、Ubisoft、Team Vitality、Guerlainなど) がビジネスニーズに合わせてTezosブロックチェーンを利用できるよう、トレーニングセッションや技術サポートを提供しています。

Proof of Stake Alliance は米国を拠点とする組織です。この分野のソートリーダーを集めています。ブルー・オブ・ステークに基づく最初のブロックチェーンの一つとしてTezosのブロックチェーンを利用してエコシステムのチームと積極的に協力し、ニーズを理解して、PoS関連技術のサポートと成長を目的とする統一見解として活動しています。

Queens Ballpark Company は不動産の設計、建設、運営を行っている企業です。同社はシティ・フィールドを所有しており、ニューヨーク・メッツの完全な子会社です。この契約の一環として、ニューヨーク市のフラッシング・メドウズ・コ罗纳・パーク内にあるシティ・フィールドにTezosのロゴと関連するメッセージが表示されます。

Tezos カメルーン、Tezos ガーナ、Tezos ナイジェリア、Tezos セネガル、Tezos チュニジア、Tezos (西) アフリカ は、アフリカ大陸で積極的にTezosの採用を拡大している主要な6つの支部です。各チームは、互いに緊密に連携を取りながら各々の市場に注力し、Tezosのプレゼンスを高めています。手始めに、コミュニティの構築、ソーシャルメディアでのプレゼンス強化、地域でのベーキング活動の構築に注力しています。また、地域でのビジネスや機会を増やすために、現地の開発者がTezosでの構築を始められるよう支援・教育していくことも重要な点です。

Tezos Commons は米国に拠点を置く非営利財団であり、チームは10人以上のメンバーで成り立っています。教育プログラム、教育メディア、Tezos LaunchPadの運営やイニシアチブをサポートするなど、数々のTezosエコシステムに貢献しています。Tezosエコシステムの様々な事業体と協力し、Kukai、Tezos Help、Tezos Agoraなどの各種プロジェクトを支援しています。チームは拡大を続けており、ハッカソンなどのコミュニティプロジェクトに貢献し、メディアを通じたエンゲージメントにも積極的に取り組んでいます。

Tezos Gulf Technologies は、アラブ首長国連邦および中東を中心に活動しています。そのミッションはこの地域におけるエコシステムの発展を支援することであり、そのために、中東全域のテクノロジーハブと提携し、官民連携を進めるために積極的に働きかけていきます。

Tezos India は、インドでTezosブロックチェーン技術の利用を望む個人や事業体を支援しています。インドにおいてブロックチェーン分野のイノベーションが進む中、Tezos Indiaは、ブロックチェーンの採用で直面する重要な障壁を取り除くことに努めています。チームは、個人や組織がTezosを利用できるように支援・トレーニングを行い、インドでのコミュニティ活動を企画し、支援しています。その他にもハッカソンの開催を支援して優勝者に奨学金を支給するなど、ツールやサポート、メンタリングを提供するフェロシッププログラム、Tezosコミュニティをインド全土に拡大するためのウェビナーも開催しています。

Tezos イスラエル は、Tezosエコシステムのために先進的なブロックチェーン技術を構築すると共に、開発者を教育・訓練してイスラエルのコミュニティに貢献しているイノベーションラボです。イスラエルのハイテクエコシステム、政府機関、スタートアップ企業でTezosブロックチェーン技術を統合することを目指しています。

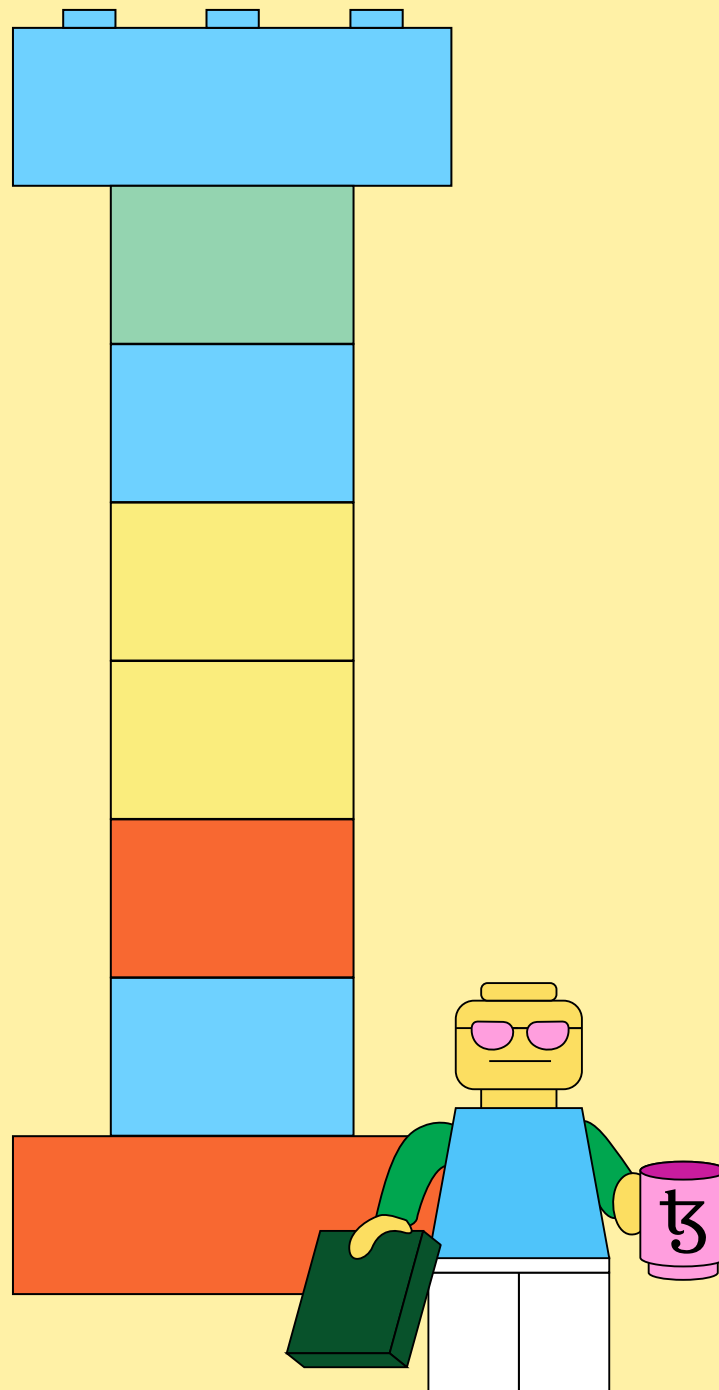
Tezos ウクライナ は、ウクライナのブロックチェーン支持者と業界のエキスパートが運営する非営利団体です。ウクライナと東欧におけるTezosコミュニティの成長と強化を促進しています。Tezosテクノロジー開発者向けのトレーニングコースやメンタリングプログラムの開発と実施、ハッカソンやミートアップの開催、ウクライナと東欧のTezosコミュニティに向けたコミュニケーション戦略の育成と実施などの取り組みを行っています。

シンガポールに本社を構える**TZ APAC**は、アジアを拠点にTezosエコシステムをサポートする大手ブロックチェーン採用事業者です。ブロックチェーンの専門家やTezosエコシステムの他のステークホルダーと密接に協力しながら、ボトムアップアプローチで企業やクリエイターのための付加価値のあるブロックチェーン変革戦略を策定しています。

TZ Connect はベルリンを拠点とするチームです。オープンソースソフトウェアの構築、Tezosを基盤とするプロジェクトや企業へのサポートの提供、世界のTezosコミュニティとの連携により、Tezosのエコシステムを推進しています。TZ Connectは、インクルージョン、アクセシビリティ、そして機会均等を大切にしています。

XTZ News は、英国、オランダ、アイルランドのコアチームが運営する、コミュニティ主導型のTezosのジャーナリスト向けニュースハブです。Tezosエコシステムの開発やプロジェクトの最新情報の提供、ビジュアル化に努め、世界中でさらに多くの情報通のオーディエンスを育くむことを目的に設立されました。

投資、ローン、 メンバーシップ



投資、ローン、メンバーシップ

Tezos Foundationは、Tezos上の製品を作成する既存の企業や組織を支援するとともに、時には、Tezosのプロトコルや関連技術の開発を推進するための融資も行っています。

投資とローン

次のセクションでは、本半期報告書の対象期間中に Tezos Foundation が行った新規の投資とコンバーティブル・ローンについてご報告します。

DOGAMI は、Tezosブロックチェーン上に構築されたユニークなプレイ・トゥー・アーンのゲームで、プレイヤーが仮想の犬のNFTを家族に迎え育てるというものです。\$DOGAはDOGAMI独自のPetaverseの内部通貨で、Dogamiをカスタマイズする追加機能の購入、アイテムの交換、新しい犬の購入、他のプレイヤーとの交流に使用できます。

Draper Goren Holm (DGH) は、ティム・ドレイパー、アロン・ゴレン、ジョセフ・ホルムのパートナーシップで設立された、ロサンゼルスを拠点とするベンチャースタジオ兼ファンドです。2021年4月に、DGHはTezosブロックチェーンに構築されたスタートアップ企業をインキュベートし、推進する計画を発表しました。これにより、エコシステムの初期の頃から、DGHはTezosを長期的にサポートすることになります。

ELEET GAMES は従来のゲームのほかブロックチェーンゲームも組み合わせた、新しいタイプのゲームパブリッシャーです。同社はゲームプレイとエンターテインメントを第一に据え、暗号ゲーミングとコアゲーミングのギャップを埋めるよう取り組んでいます。

さらに、ELEET GAMESでは、パブリッシングレーベル (Publi- shing 3.0 – 分散型ゲームパブリッシング) の商業的成功と意思決定において、任意で参加可能です。

Kyro Digital は、初のネイティブWeb3プラットフォームビルダーで、暗号マーケットプレイスの次世代のアプリケーションを実現しています。NFT、コイン、トークン、ニューフロンティアの資産についてパートナーが再考し推進する上で、シンプルで簡単な方法によって暗号採用を転換できるという、新しい分野のサービスを作りました。多くの開発者がWeb3や暗号の分野に参入する中、Kyroは拡張可能ですべての暗号資産に対応する

15のユーティリティ・アプリケーションも提供するプラットフォームを通じて、ブロックチェーンに関わる技術的な障壁の多くを簡素化しています。

InterPop は、Tezosのブロックチェーン上でファンが運営するコミックや収集NFTにより、デジタルファンダムの未来を形成しているデジタルエンターテインメント企業です。InterPopの最も注目すべき製品はコレクティブルカードゲームで、これはカテゴリー内最高のゲームたちと真っ向から対決するゲーム設計とするために、ベテランのもつ専門知識を活かして制作されました。

InterPopチームは、デジタル資産の真のオーナーシップはコミックとゲームの未来にあり、その未来はInterPopから始まると信じています。

Many Hands SPC は米国が拠点の企業で、トレーディングカードゲーム「VersesTCG」向けにTezos上でミントされたコレクティブルNFTを開発・商品化しています。チームは、2022年第3四半期に内部でプレイ可能なアルファ版、同第4四半期にクローズドベータ版、2023年第1四半期にオープンベータ版を予定しています。



Mark Investment Holding はスイスを拠点とする企業で、同社の投資プラットフォーム「Splint Invest」に Tezos を統合することを約束しています。Splint Invest では、ユーザーは Tezos のブロックチェーン上のトークンで示されるオーナーシップの小部分 (splint) を購入することで、有形資産に投資することができます。

Moonfire Ventures は、Web3、ブロックチェーン、人工知能、機械学習、拡張現実、仮想現実のプロジェクトに資金を提供している VC 企業です。Moonfire チームは、主に、テクノロジーのあらゆる分野を再定義するプロジェクトや歪みの源となるプロジェクト、またイノベーションの原動力となるようなプロジェクトに取り組んでいます。

OneOf は、音楽コミュニティの代表的なプラットフォームとしてその地位を確立しました。OneOf は、高いミントコストやブロックチェーン技術の複雑さに悩まされることなく、爆発的に成長する NFT の世界を探索したいと願うアーティストやファンに重要なソリューションを提供します。OneOf は、ワーナー・ミュージック・グループのほか、グラミー賞、JBL、モントルー・ジャズ・フェスティバル、HarmanKardon、iHeartRadio、Mus iCares とコラボしています。OneOf は、Doja Cat、ホイットニー・ヒューストン、Alesso、The Game、Chief Keef、Pia Mia などのメジャーなアーティストやインディペンデントなアーティストと NFT コレクションを立ち上げました。

Wert.io は、クレジットカードによる NFT の直接購入を導入した最初の決済ゲートウェイです。Wert は、組み込み型の金融技術を使用して、NFT やその他の DeFi 製品の購入を簡素なものにしています。Wert の決済モジュールは、ブロックチェーン上に構築されたプロジェクトの規制、コンプライアンス、決済、ブロックチェーンの相互運用性をひとつ屋根のもとにまとめ、ユーザーの獲得を促進しています。エストニアに拠点を置くこのスタートアップ企業は、2021 年 4 月に最初の NFT マーケットプレイスを展開して以来、大きな市場を獲得しています。このサービスは簡単にプラグインでき、Rarible、Mintable、KnowOrigin などの主な NFT プロジェクトで既に運用されています。また、オンライン消費者や非暗号系の顧客にとって見慣れたソリューションに特に関心のある小売業者とのパートナーシップを確立しています。

メンバーシップ

Bitcoin Association Switzerland は、Bitcoin の活発な愛好家のコミュニティで、定期的にイベントを開催し、未解決の法的疑問の解決に努めたり、メディアからの問い合わせ窓口を提供して一般の人々を啓蒙しています。

Capital Markets and Technology

Association (CMTA) は、スイスの金融、技術、法律の各分野の主要関係者によって設立された独立した協会です。分散型台帳技術 (DLT) を利用したトークン形式の証券の発行、流通、取引に関する共通基準を策定しています。資本市場の分野で DLT の利用を促進することを目的としています。

DLT Education Consortium (DEC) は、分散型台帳技術 (DLT) とデジタル資産の認定資格を提供しています。これはブロックチェーン業界で働く人々にとってのベンチマークとなる業界標準です。DEC は、DLT の研究・教育を行っている主要な大学・機関のコンソーシアムによって設立されました。

Multichain Asset Managers Association (MAMA)

は、ブロックチェーン技術による資産運用の変革を目指す組織のグローバルコミュニティです。年間を通してパリ ブロックチェーンウィーク サミットやシンガポール FinTech フェスティバルなどの様々なイベントを開催しています。

OpenVASP Association は、メンバーのニーズや要求に基づいて、Tezos のプロトコルとそのエコシステムを発展させることを目的とした非営利団体です。仮想資産サービスプロバイダー (VASP) と他の当事者との間で取引情報を伝達するためのオープンなプロトコルの確立と保守を目標としています。

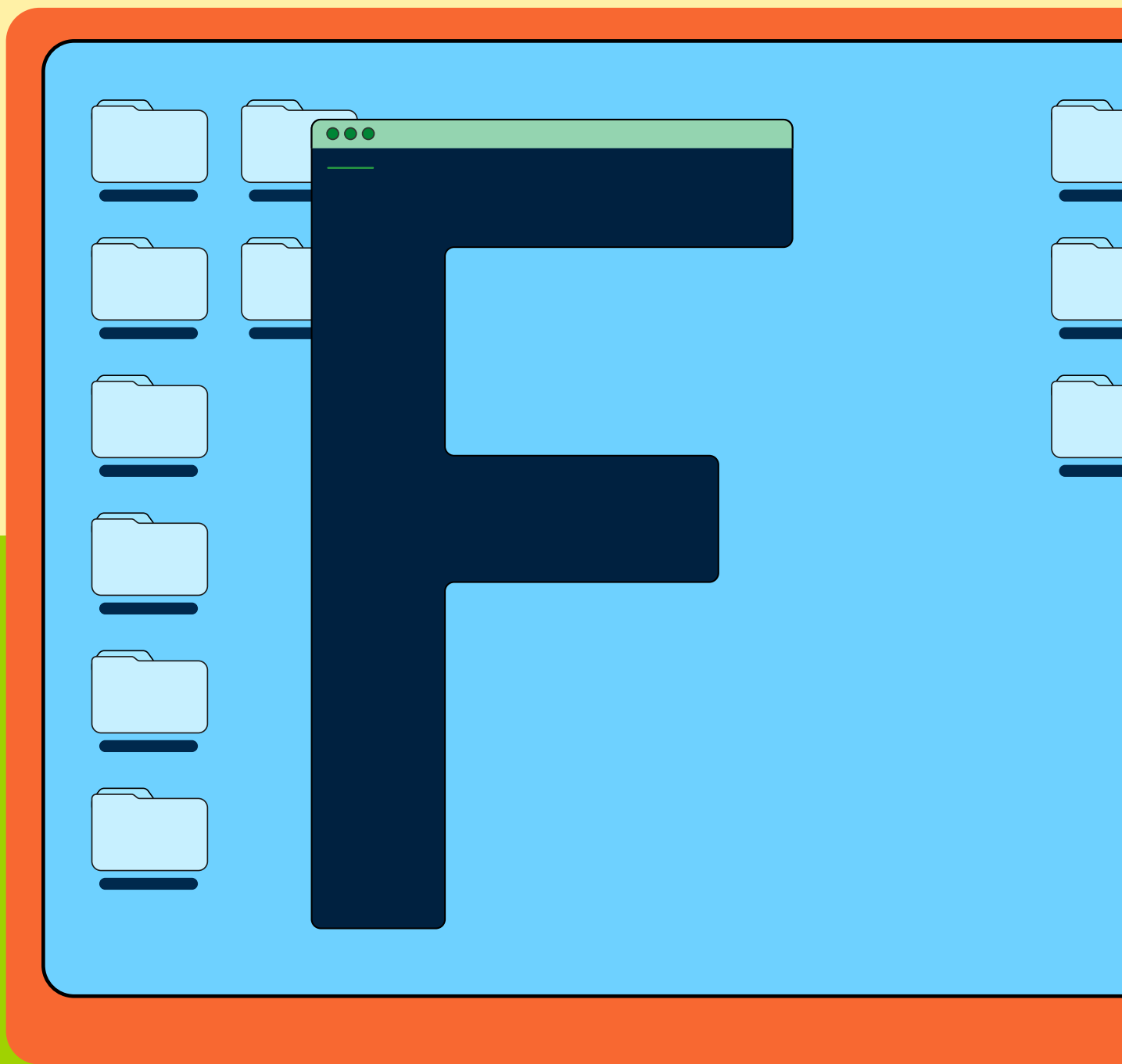
SmartNode はフランスを拠点とするステーキングと RPC ゲートウェイの企業で、プルーフ・オブ・ステークのチェーンに特化し取り組んでいます。

Swiss Blockchain Federation の目的は、ブロックチェーンを使った活動の場としてのスイスの魅力をアピールし、安全で競争力のある法的枠組みの構築を推進することです。スイス ブロックチェーン連盟は、ブロックチェーン分野、政治・経済分野、科学界、公共分野からの関係者で構成されている官民パートナーシップです。

企業向けベーキングプログラムローン

Tezos Foundation は、企業の Tezos 技術採用を促進するため、tez ローンを通じて法人ベーカーの支援を行っています。このサンドボックス型ローンにより、企業は Tezos ブロックチェーン技術に触れ、開発者を教育する機会を得ることができます。

ファイナンシャル



ファイナンス

Bitcoinとtezで大量に保有されている財団の戦略的資産配分は、暗号市場の高騰の影響を受けました。また、安定資金から成熟した金融ポジションを再投資しなかったことにより、現金（フィアット）が増加しました。

財団の財務部門で実行された、暗号通貨での取引を含める主要な不換通貨（fiat）での助成金受給やサービスプロバイダーへの支払件数は、約2,000件となりました。また、財団の子会社にその専門知識を提供し続けました。

2022年6月に、2021年の会計年度についてPricewaterhouseCoopersによる5回目の法定監査が、資格や指摘もなしに、な完了されました。今回は、スイス、フランス、ドイツ、シンガポール、ドバイの間接子会社を含むTezos Foundationグループの、現地の会計制度に基づく法定財務諸表ならびに中小企業向け国際財務報告基準（IFRS for SMEs）に基づく連結財務諸表が法定監査の対象となりました。

主要な指標データ

(百万米ドル)	2022年6月30日	%	2022年1月31日	%
現金 (fiat)	81	12%	52	4%
Bitcoin (BTC)	216	33%	474	41%
Tezos (XTZ)	170	26%	309	27%
安定化基金	148	23%	233	20%
その他の投資	40	6%	95	8%
資産の市場価値	655	100%	1,163	100%

2022年6月30日現在。現金には、従来安定化資金の一部として開示されていた銀行へのオーバーナイト預金を含む。Bitcoin (BTC) には、前回の「その他の投資」項目で開示されていた、保有および貸与のtzBTCを含む。Tezos (XTZ) は前回の「その他の投資」項目で開示されていたTezos ETPを含む。

ネットワーク



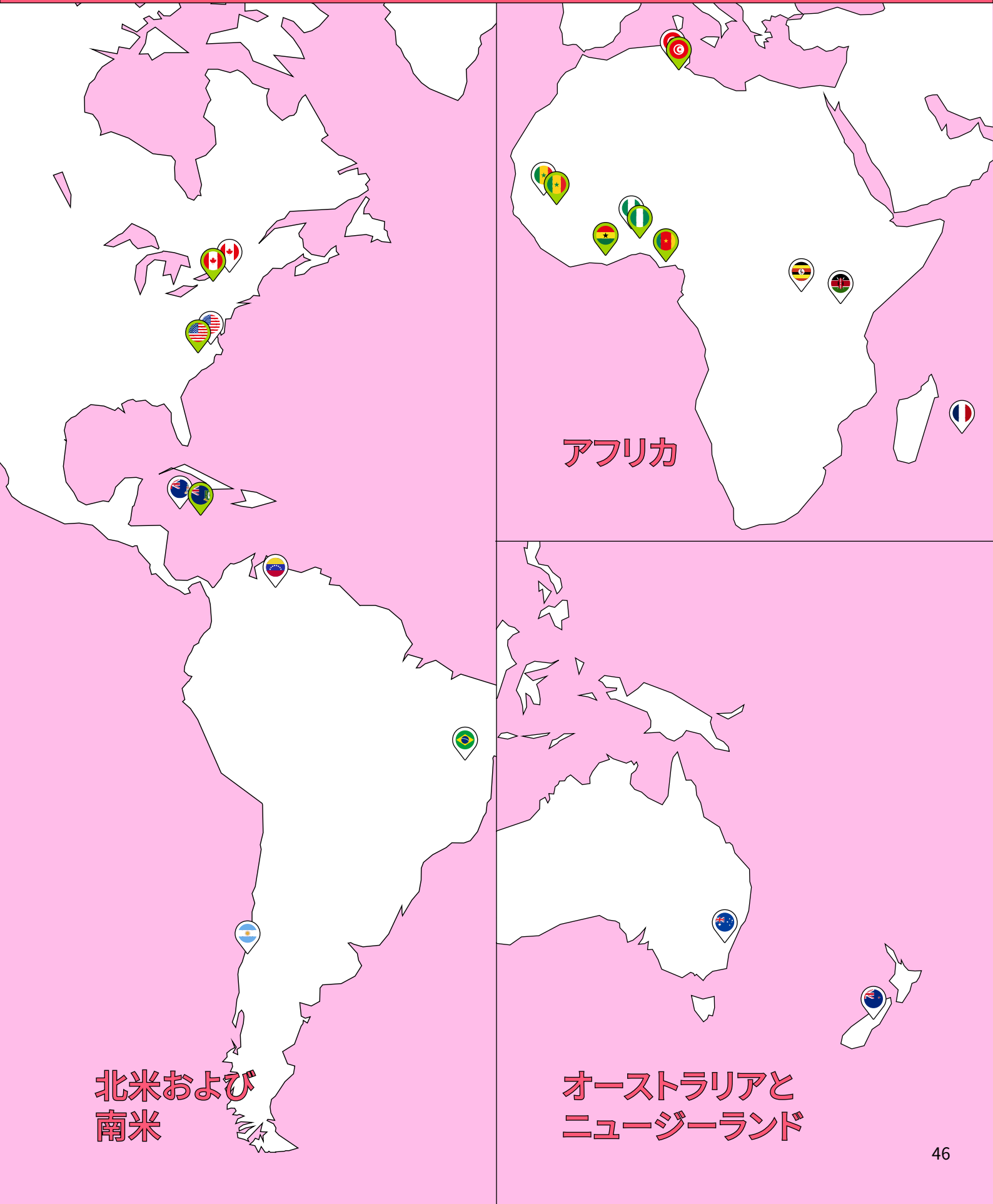
Tezos エコシステムの マップ

アジア

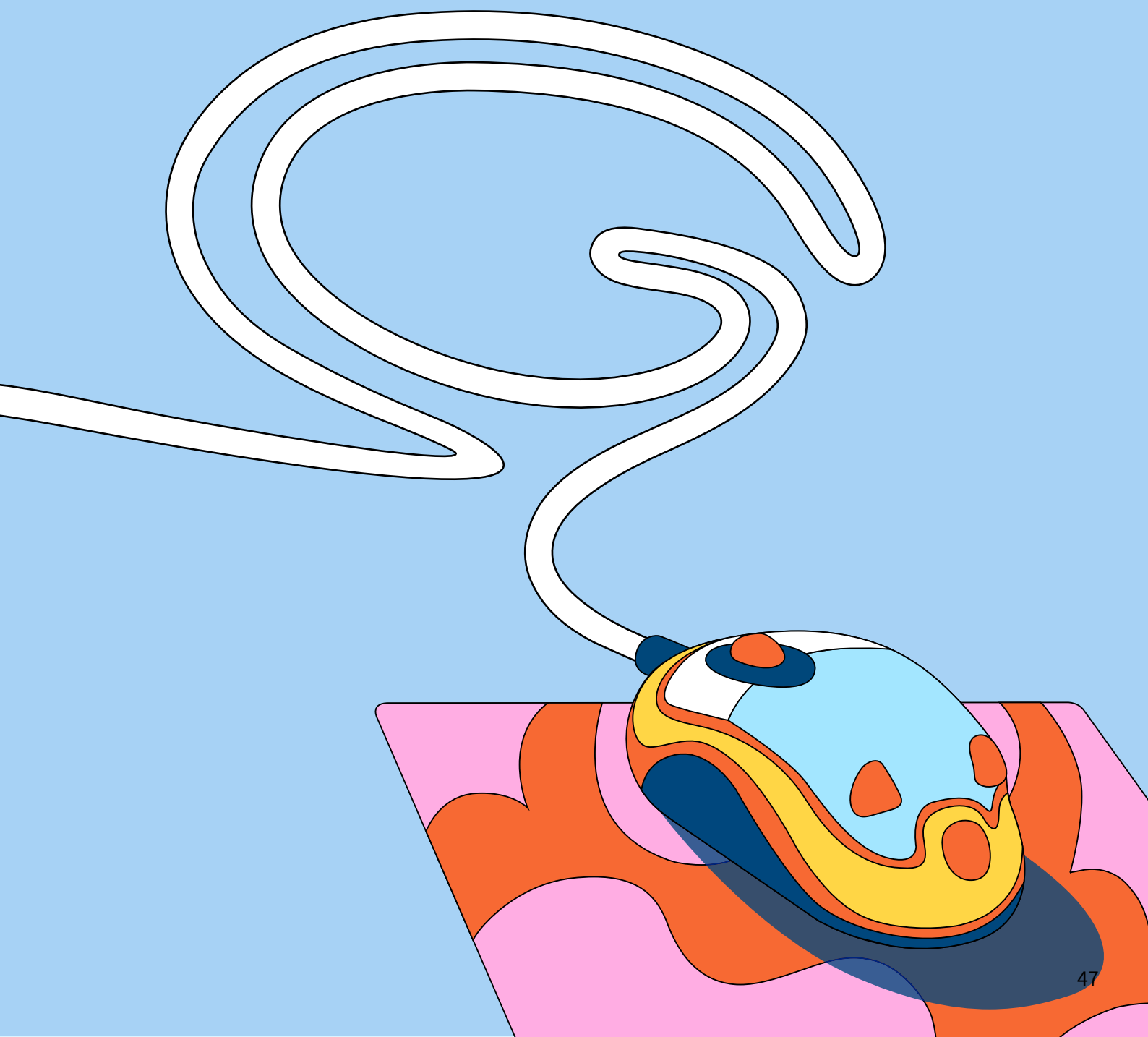
📍 助成金
期間中の有効な助成金

📍 パブリックベーカー
2022年6月30日現在。Blockwatchのデータ

ヨーロッパ



ガバナンス



Tezos Foundationの 理事会と委員会

TezosコミュニティへのTezos Foundationの組織とガバナンスに関する透明性を高めるために、Tezos Foundationの組織の機能と責任を以下に示します。

財団理事会

財団理事会は、財団とその資産の監視と管理、運営、および財団の戦略決定における包括的責任を負っています。その憲章に従い、財団理事会は運営および資産管理の任務を財団の執行委員会に委任しています。財団理事会は、自らで理事を任命し、構成します。現在、財団理事長を含め9名の理事で構成されています。

監査委員会

監査委員会は、財務諸表や税務など財団の財務報告および事業報告を監視する組織です。監査プロセスには、財団の法定監査人（PwCスイス）の活動、妥当性、有効性の確認があります。

執行委員会

執行委員会は、財団の運営および資産管理の任務を財団理事会から委任されています。さらに、執行委員会は理事会の決議を実施し、中でも、財団の目的を促進する投資決定に対して一定の責任を有しています。

投資委員会

投資委員会は、通常の助成金や通常の資産管理以外のあらゆる財団の投資について、財団理事会と執行委員会に推奨とアドバイスを行う組織です。

技術諮問委員会

技術諮問委員会は、Tezosプロトコルのすべての技術的問題について、財団理事会と執行委員会に推奨とアドバイスを提供するために設立された組織です。技術諮問委員会にはTezosコミュニティの至る所から出身する外部委員が含まれます。

指名・報酬委員会

財団理事会は最近、新会員を評価して財団理事会に提案する指名・報酬委員会を設置しました。また、財団の報酬モデルを定期的に評価することも同委員会の任務です。

財団理事会

Tezos Foundation理事会は、Tezosプロトコルとエコシステムをサポートするため、Tezos Foundationを率いる経験豊富な専門家で構成されています。各理事が、それぞれの分野の専門知識と見識を提供します。世界中から集まったユニークで経験豊富な理事の全員で理事会を形成しています。



Roman Schnider
財団理事会理事長

Roman SchniderはTezos Foundation理事会会長です。スイス、ドイツ、オーストラリアのPwCでの15年間のキャリアの間に、金融サービスのスペシャリストからブロックチェーン技術を中心とした金融サービスのディレクターに就任。2019年にTezos Foundationに最高財務責任者兼オペレーション責任者として加わり、その2019年の創立以来、財団の執行委員として活躍してきました。



Alexis Bonte
財団理事会理事

オンラインゲーム会社であるeRepublik Labsの共同設立者兼CEO。同社はStillfront Groupの関連会社であり、グループCOOの役職に就いています。Atomicoの元ベンチャーパートナーでもあり、いくつかのインターネット企業やゲーム企業では理事を務め、エンジェル投資家として資金援助も行っています。フランスとポルトガルにルーツがあり、ヨーロッパビジネススクール（ロンドン）で国際ビジネス・言語学で文学士の学位を取得しています。



Arthur Breitman
財団理事会委員

Arthur BreitmanはTezosの初期のアーキテクトです。以前は、Google XやWaymoでは研究エンジニアでした。またゴールドマン・サックスやモルガン・スタンレーでは定量分析アナリストとして活躍していました。Arthurは、エコー・ポリテクニックとニューヨーク大学のクーラント研究所で、応用数学を専攻し、卒業しました。



Alice Lloyd George
財団理事会理事

ベンチャーファンド「Rogue Capital」の創設パートナーです。2013年以降、ゲーム、ブロックチェーン、機械知能、コンピュータビジョン、ロボット工学、仮想現実・拡張現実、NewSpaceなどの分野における新興技術とインターネット文化にいち早く注目し、それに投資し続けています。理事に就任する前は、RRE Venturesのポートフォリオ会社12社における取締役とオブザーバーを務め、Bridgewater Associatesの投資家、北京とワシントンにあるBrookings Institutionの研究員、Wall Street Journalの香港駐在記者などを務めた経験があります。



Lars Haussmann
監査委員会会長

Larsは、Hausmann Treuhand AGの企業管理および管理責任者です。1999年、Hausmann Treuhand AG入社。以来、厳しい複雑な状況の中で、会社経営、経営管理、財務の分野において豊富な経験を積んできました。スイス出身のLarsはチューリッヒ大学で経済学を修めています。また、スイス公認勅許会計士の資格も有しています。



Olivier Jaillon
財団理事会理事

Olivierはフランスの大手保険会社であるLa Parisienne Assurancesを前身とするWakamのチーフエグゼクティブ兼イネーブルメントオフィサーを務めています。同社はカスタマイズされたホワイトラベルの保険商品をヨーロッパ中のブローカー、インシュアテック企業、非保険代理店に提供しており、その総収入保険料は3億8,200万ユーロに上ります。OlivierはEMリヨン経営大学院を卒業し、SDA Bocconiで国際経済・経営学の修士号を取得しています。また、著書にThe Intangible Ageがあり、私たちの社会が所有経済から共有経済へと移行している過程について書いています。



Anil Madhavapeddy
財団理事会理事

Anilは、ケンブリッジ大学コンピューターラボラトリーの大学講師（准教授）として、コンピューターシステムとプログラミング言語の交点を研究しています。Anilは25年以上にわたってオープンソースソフトウェアに幅広く取り組んでおり、その研究は数多くの商業団体にもスピンアウトされてきました。Anilは、ハイパーバイザーのXen（2007年にCitrixが買収）を作ったチームの一員であり、Unikernel Systems（2016年にDockerが買収）を設立しました。



Daniel Masters
財団理事会理事

DanielはCoinSharesグループの共同創業者であり、現在も会長の職にあります。CoinSharesグループは世界の投資家からの委託を受けて膨大な額の資産を運用する世界有数のデジタル資産投資会社です。また、世界初の規制ビットコインファンドをローンチし、主に原油とコモディティを扱う投資企業Global Advisorsを創立しました。新たな資産クラスの開発では30年以上もの実績をもつDanielは、デジタル資産エコシステムで一目置かれる有名人です。独立する前には、JPモルガンでエネルギー&トレード部門のグローバルヘッドを務めた経験もあります。英国出身のDanielは、物理学と統計学の学位を取得しています。今の時代を生きるトレーダーのなかでも、石油取引の成約件数では自分の右に出るものはないと自負しています。



Chris Wright
財団理事会理事

Chrisは、オープンソースソフトウェア企業、Red Hatのシニア・バイス・プレジデント兼最高技術責任者（CTO）です。同社は、2019年にIBMに買収されました。CTOとしてChrisは、Red Hatを単一製品を取り扱う事業から、グローバル企業の顧客がアプリケーションを拡張し、あらゆる種類のクラウド環境で新技術を展開するための基盤へと移行するのを支援しました。Chrisは、オープンソースソフトウェアに情熱を注いで取り組んでおり、業界で25年過ごしたうち20年は、オープンソースに従事してきました。

財団委員会

執行委員会

Roman Schnider
Tezos Foundation 理事長

Mason Edwards
最高商務責任者

投資委員会

Roman Schnider
財団理事会 会長

Alexis Bonte
財団理事会 理事

Alice Lloyd George
財団理事会 理事

Olivier Jaillon
財団理事会 理事

Mason Edwards
Tezos Foundation

Edward Adlard
TriliTech

監査委員会

Lars Haussmann
監査委員長、財団理事会 理事

Roman Schnider
財団理事会 会長

Daniel Masters
財団理事会 理事

Andrea Zuppiger
Tezos Foundation

Olivier Jaillon
財団理事会 理事

技術 諮問 委員会

Rafael Ziolkowski
Tezos Foundation 会長

Edward Adlard
TriliTech

Bruno Bernardo
Nomadic Labs

Benjamin Canou
Nomadic Labs

Jun Furuse
DaiLambda

Luis Gonzalez
Tezos Commons

Anil Madhavapeddy
財団理事会 理事

John Newby
TZ Connect

Dani Jozsef
TZ Connect

Chris Pinnock
Tezos Foundation

指名・報酬委員会

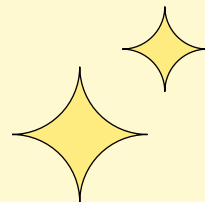
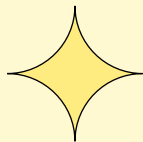
Alexis Bonte
指名・報酬委員長、財団理事会 理事

Roman Schnider
財団理事会 会長

Lars Haussmann
財団理事会 理事



私たちが目指すのは世
界中の個人や団体組織
をサポートし、
堅牢かつ分散型のデジ
タルコモンウェルスを作
り出すことです。





Tezos Foundation

tezos.comでTezosのプロジェクトに参加しましょう
Tezos Foundationについて詳しくは、tezos.foundationをご覧ください

Tezos Foundationは、スイス非営利財団です（所在地：Dammstrasse 16, 6300 Zug, Switzerland）。Tezos Foundationは、スイス連邦内務省に属するスイス連邦財団監督局の監督下にあります。特にTezosプロトコルと関連技術の促進と開発を含む、新たに開かれた分散型のソフトウェアアーキテクチャの分野における、新しい技術とアプリケーションの開発促進を活動の目標としています。本半期更新活動報告書は、SFSAによるTezos Foundationの公式活動報告書ではありません。本半期更新活動報告書はあくまで、誠実に一般的な情報提供のみを目的に公開されている資料です。Tezos Foundationは、本書に記載されている情報の完全性、信頼性について、いかなる保証もいたしません。特に明記のない限り、本半期更新活動報告書に記載されるすべてのデータ、情報、および写真は、Tezos Foundationが作成し、知的財産として所有しています。